



明治大学

政治経済学部

SCHOOL OF POLITICAL SCIENCE AND ECONOMICS

「個」を強くする大学。

A background illustration of a university building, split vertically. The left half is a solid dark red color, and the right half is a white line-art drawing of the same building. The building is a tall, multi-story structure with many windows. The text "MEIJI UNIVERSITY 2026" is overlaid on the red portion of the building.

MEIJI
UNIVERSITY
2026

“Academic Integration” makes the world go round.



政治経済学部長
小野島 真 (おのじま まこと)

1990年明治大学商学部卒業。2000年明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程修了。博士（経済学）。名古屋学院大学経済学部専任講師、助教授、明治大学政治経済学部助教授、准教授を経て2010年より専任教授。「財政学」「租税論」を担当。

学部長メッセージ

現代社会の課題に立ち向かう「教養豊かな専門人」を育てる

現代社会は、貧困や格差、国際的な対立など、多様で複雑な課題を抱えています。これらの問題を解決するためには、多面的な視野と広範な知見を持ち、様々な角度から物事を捉える力が必要です。政治経済学部では、こうした課題に立ち向かう「教養豊かな専門人」の育成をカリキュラムポリシーとして掲げています。また、社会が急速に変化する中でも、自身の力を最大限に発揮できるよう、「個」を育む教育を推進し、独立自治の精神を持った人材を育てることに力を注いでいます。

政治経済学部は、政治学科、経済学科、政策学科^{*}の3つの学科で構成され、それぞれの専門とする学問領域が密接に関連しています。たとえば政治学科では、政治学や行政学とともに、経済学的な視点や手法も重要になります。経済学科では、経済の動きを理解するために、政治学や社会学の視点が必要です。また、政策学科^{*}では、多様に定義される「地域」を対象に、学際的かつ実践的に課題に取り組みます。さらにそれぞれの領域で、哲学、倫理学、歴史学、経営学、自然科学などの知見も欠かせません。この学部には、このような学科の垣根を超えた、学際的で多彩な科目を履修できるカリキュラムが整っています。学生一人ひとりが幅広い視点を持ち、優れた専門性を育むことができる、

これこそが政治経済学部で学ぶことの大きな特長、そして魅力であるといえるでしょう。

さらに、これからの社会では、国際的な視野を持ち、急速に進む情報化に対応できる力が必要不可欠です。当学部では、グローバル教育に早期から取り組んでおり、学内トップクラスの留学プログラムを有するほか、タイのタマサート大学との間で2つの学位を取得できるダブルディグリープログラム、学内で行われる英語実践力特別強化プログラム（ACE）、グローバルキャリア形成プログラム（GCDプログラム）など、世界を舞台に活躍するための実践的なスキルを磨く豊富な学びを用意。また、情報化については、統計学などの講義とともに、全学による情報関係科目を受講できるほか、文部科学省認定の数理データサイエンス人工知能リテラシーレベルプログラムの修了を目指すこともできます。

政治経済学部は、学部及び全学でのプログラムを通じて、あなたの目標への挑戦を支援します。まだ明確な目標を持っていない人も、多彩なカリキュラムから、新たな興味や可能性を見つけてください。これからの未来を切り拓くために必要な力を、政治経済学部と一緒に身につけませんか。あなたの挑戦を心からお待ちしております。

CONTENTS

学部長メッセージ	01
政策学科告知ページ	03
政治経済学部概要	05
カリキュラムの特長	07
政治経済学部の特色	
①教養豊かな専門人を育む教養演習ゼミナール	09

②問題解決力を磨くゼミナール教育	11
③グローバル教育	13
学科紹介	
■政治学科	19
■経済学科	21
■政策学科	23

教員紹介	25
PICK UPゼミナール	26
学部教育振興プロジェクト	27
インターンシップ制度	29
大学院 政治経済学研究科	30
キャリア形成サポート	31

各分野で活躍している卒業生たち	33
政治経済学部生の1日	36
入試情報	37

^{*}2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。
(2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じることがあります。)

^{*}登場する学生の在籍年次や卒業生の肩書等は2024年度のもので、
2024年以前撮影の写真も掲載しています。

Fieldwork

政治経済学部

Theory

政策学科

2026年
4月

誕生

Data Science

課題をつかみ、政策を構想し、
実践力でより良い社会をつくる、

課題解決の
プロフェッショナル

Policy

政策学科の詳細は P.23

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。(2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じる場合があります。)



「政治」「経済」「政策」をあわせて学ぶことで 様々な視点から理解を深める

明治大学政治経済学部は「政治」「経済」「政策」の3学科に分かれています。学科ごとの履修制限は、ほとんどありません。関連性の高い「政治」「経済」「政策」を合わせて学ぶことで、一つの事象について、歴史・理論・政策面などの様々な視点で考え、理解を深めていくことができます。

*学科は受験時に選択し、1年次～4年次まで所属することになります。

政治学科

人間とそれが構成する社会を対象とした総合科学

Department of
Political Science

入学定員：290名
取得できる学位：学士(政治学)

政治学の主要な研究テーマは「政治」ですが、それはいきなり政治の“実践”を学ぶことではありません。政治学は人間とそれが構成する社会を対象とした総合科学です。明治大学の政治学科では、事実と理論に基づいて、政治現象を分析し、その構造や成立過程を解明する力、さらに、社会の仕組みを読み解き、自分がどう行動するかを判断する力を養います。カリキュラムには政治学を中心に隣接する多彩な分野の講義を設けているため、社会や人間の行動を多面的に理解する能力を高めていくことができます。

経済学科

社会全体が幸せになる方策を考える

Department of
Economics

入学定員：630名^{※2}
取得できる学位：学士(経済学)

経済学は、資源を活用し、製品やサービスをつくり出して、得られた富を公平に分配することを考える学問です。日本が直面している少子高齢化の問題のひとつに、労働力の減少によって世代間で富の再配分がうまく働かなくなる点が挙げられます。経済問題は争いを生み、それが国家間では、戦争の要因にもなり得ます。経済学はそうした問題を克服するためにも大きな意味を持っています。より多くの人が幸せに、快適に生きることができる社会はどのようなものなのかを追究することが、今、経済学を学ぶ人には求められています。

政策学科^{※1}

地域の最前線に立つプロフェッショナルを養成する

Department of
Policy Studies

入学定員：200名^{※2}
取得できる学位：学士(政策学)

政策学科は、民間企業や公的機関で活躍する課題解決のプロフェッショナルの養成を目的とした学科です。グローバル化における国内外の地域は、「地方」「都市」「国」「世界」など多様な意味と多くの可能性を持ちます。その反面、自然的、人的、社会的及び文化的な資源をめぐる諸問題を抱えています。そこで、政治学・社会学・経済学をはじめとした学際的な知識とデータ分析力・語学力を総動員し、諸課題の解決および社会を豊かにするための政策のあり方を構想し、企画・立案、実践能力の修得を目指します。

※1 2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。(2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じる可能性があります。)
※2 2026年度から入学定員を変更予定です。(2025年5月現在届出手続中。計画に変更が生じる可能性があります。)



明治大学政治経済学部の強み

Point
1

アクティブラーニング

▶詳細はP.09～12

1年次からゼミナールで少人数教育を受け、主体的に学ぶ意欲を高める

1・2年次は、文化・社会・言語などの教養を深めることを目的とした「教養演習」、3・4年次は、政治学・社会学・経済学・政策学・国際地域文化論など多彩な分野において、より高度な学習・研究を行う「専門演習」のゼミナールが設置されています。ゼミナールでは、履修生同士の距離も近く、お互い切磋琢磨しながら自らの研究に取り組むことができ、担当教員から自身の研究テーマに沿った指導を受けながら、学びを深めていくことができます。

Point
2

充実したオムニバス授業

各業界のトップランナーの授業が受けられる「応用総合講座」

「応用総合講座」は、将来リーダーとして活躍できる人材を育成するために設置された授業で、各業界の最先端にいる人々から直接指導を受けることができます。

■2024年度開講テーマ例

ジェンダー/セクシュアリティ 講師：本学教員および外部講師

本講義では、学内外のジェンダー/セクシュアリティの専門家やマンガ、女性性・男性性、軍隊、性暴力、ヒジラ、先住民、トランスジェンダー、クィア、エイズ、ズーフィリアなど多岐にわたるテーマで講義を行います。時空間も、近代から現代、ヨーロッパ・アメリカ・アフリカ・アジアと広範囲にわたります。ジェンダー/セクシュアリティに関する知識を身につけるとともに、それらをめぐる問題をグローバルな視点で多角的に考える力を養うことを目標としています。

自治体トップが語る自治体行政と地域政治 講師：自治体首長(市区町村長等)

本講義では、地域における政治・経済のキーパーソンとして活躍している自治体の首長や首長経験者を招き、現実の自治体行政の動きと地域の自己決定システムである地域政治の実態を学んでいきます。

[指導講師例]

・東京都杉並区長 ・東京都大田区長 ・東京都国分寺市長 ・東京都東村山市長 ・埼玉県戸田市長 ・静岡県御殿場市長 など全14回

エコシステム産業 講師：本学教員および外部講師(社会起業家)

本講義では、行動変容と社会イノベーションを実行するチェンジメーカー(社会起業家)を招き、対話やワークショップを中心に講義を行います。これからの価値競争の時代には、感動や自然、関係性といったこれまで貨幣や市場で評価されてこなかった、非貨幣・非市場経済の創出が重要となります。エコシステム産業=「心産業(マインドストリー)」とし、豊かな関係性から様々な価値を生み出す社会起業家=「マインドストリア」の育成を目指します。

ビジネスと市場リスク 講師：本学教員および外部講師

本講座では、企業の後継者となる者だけでなく、地域のリーダーとして活躍したい者、地方自治体の職員、税理士やコンサルタント、地域金融機関あるいは地域社会に密接する企業に勤務したいと考えている学生を対象に、地域社会の有形資産、地域雇用、権能、理念、自然環境、文化、規範、ブランド、紐帯などを次の世代に引き継ぐ「社会的事業承継」を主導する「地域リーダー」としての基礎的な知識の習得を目的としています。

Point
3

グローバル教育

▶詳細はP.13～18

明治大学内でも先進的なグローバル教育を展開

学生の多様なニーズに応えられるよう、多数の留学プログラムを用意しています。また、英語実践力特別強化プログラム「ACE」の少人数授業や、世界各国のトップスクールから教員・研究者を招いて授業を行う「トップスクールセミナー」、グローバル社会で通用する力を身につける「グローバルキャリア形成(GCD)プログラム」、「国際交流学生委員会(The Supporters)」など、日本にいながら、英語力向上・国際交流・留学体験ができる学内プログラムも充実しているため、自身にあったプログラムを選択し、国際的な視野を身につけることができます。

政治経済学部の4年間で学べること

多彩なリベラルアーツ科目としての「基礎科目」「外国語科目」「健康・運動科学科目」で問題を解決する「基礎体力」を身につけ、これを土台に「基本科目」「応用科目」「ゼミナールの少人数教育」へと段階的かつ体系的に専門科目を履修することができます。

[4年間の学びの流れ]



PICK UP ゼミ指導型コース制

3・4年次の応用科目の科目選択の目安・履修モデルとして、以下の「4つのコース」とさらに各コースを区分した「科目パッケージ」を配置しています。学生はゼミ担当教員の指導に基づいて、自身の研究テーマにふさわしいコース・科目パッケージを選び、卒業論文作成をゴールとした体系的な学習を行います。
 なお、「専門演習」を履修しない（ゼミナールに所属しない）学生は、3年次にいずれかのコースを選択し、選択したコースの科目を20単位以上修得することを卒業要件としています。

コース	a 政治理論系パッケージ	b 国際政治系パッケージ	c 社会学系パッケージ
政治学・社会学コース	自治体経営論/国家論/現代国家分析/都市政策/都市行政/政治過程論/政治体制論/政治体制変動論/比較政治論/比較政治論(東アジア)/計量政治学/政治行動論/公共政策学	国際政治学/国際関係史/アジア政治論/アメリカ政治論/ラテンアメリカ政治論/アフリカ政治論/ロシア政治論/東欧政治論/国際法A/国際法B/比較政治論/比較政治論(東アジア)/日本・アジア文化論A~D/日本・アジア地域論A~D/ヨーロッパ文化論A~D/ヨーロッパ地域論A~D/アメリカ文化論A・C・D/アメリカ地域論A・C・D/連環地域文化論A~D	現代社会学A/現代社会学B/現代社会心理学A/現代社会心理学B/産業心理学/消費心理学/社会調査法/フィールドワーク論/比較社会学/民俗学A/民俗学B/社会人類学A/社会人類学B/地域情報論
Bコース	d 国際経済系パッケージ	e 財政・金融系パッケージ	f 総合経済政策系パッケージ
経済学コース	国際経済学/経済地理学/開発経済学/国際経済政策/国際金融論/日本・アジア文化論A~D/日本・アジア地域論A~D/ヨーロッパ文化論A~D/ヨーロッパ地域論A~D/アメリカ文化論A・C・D/アメリカ地域論A・C・D/連環地域文化論A~D	現代日本経済論/金融論/金融政策/地方財政論/財政政策/租税論/国際金融論	現代経済政策/食料経済学/環境経済学/産業組織論/中小企業論/地域産業論/人口学/労働経済学/社会保障論/協同組合学/地域開発論/地域振興論
Cコース	g 行政系パッケージ	h 産業・地域社会学系パッケージ	i 広域・国際政策系パッケージ
政策学コース	自治体経営論/行政学/地域行政学/情報政策論/公共政策学/公会計学/都市政策/都市行政/地方財政論/社会保障論/地域開発論/財政政策/地方自治法/租税論/政策実践総合講座/応用政策論A~G	地域産業論/中小企業論/協同組合学/地域行政学/都市政策/都市行政/経済地理学/社会福祉政策論/地域情報論/コミュニティ福祉論/地域振興論/観光・文化政策論/社会的企業論/人口学/政策マーケティング/政策実践総合講座/応用政策論A~G	経済法/経済政策原理/金融政策/現代経済政策/開発経済学/国際経済政策/食料経済学/環境経済学/労働経済学/異文化ビジネス論/実践異文化ビジネス論/国際政治学/国際関係史/国際金融論/スポーツ文化論/政策実践総合講座/応用政策論A~G
Dコース	j 日本・アジア文化系パッケージ	k ヨーロッパ文化系パッケージ	l アメリカ文化系パッケージ
国際地域・文化論コース	比較政治論(東アジア)/比較政治論(東アジア)/民俗学A/民俗学B/社会人類学A/社会人類学B/異文化ビジネス論/実践異文化ビジネス論/日本・アジア文化論A~D/日本・アジア地域論A~D/連環地域文化論A~D/身体文化論/スポーツ文化論/表象文化論	国際政治学/国際関係史/アフリカ政治論/ロシア政治論/東欧政治論/比較政治論/国際経済学/異文化ビジネス論/実践異文化ビジネス論/ヨーロッパ文化論A~D/ヨーロッパ地域論A~D/連環地域文化論A~D/身体文化論/スポーツ文化論/表象文化論	国際政治学/アメリカ政治論/ラテンアメリカ政治論/比較政治論/国際経済学/異文化ビジネス論/実践異文化ビジネス論/アメリカ文化論A・C・D/アメリカ地域論A・C・D/連環地域文化論A~D/身体文化論/スポーツ文化論/表象文化論

[カリキュラム体系図]

教養豊かな専門人を育成するカリキュラム

多彩な教養科目・専門科目が用意されているため、幅広い選択肢の中から自身の興味・関心にあわせて学習していくことができます。

※新カリキュラム検討により変更となる場合があります。
 ※★は半期集中科目、☆は通年科目

科目区分	卒業に必要な単位数	科目
基礎科目	28	※4つの科目群から各4単位以上修得すること
		人文科学科目群 哲学概論、哲学史、基礎論理学、応用論理学概論、歴史学★、国語表現★、日本文学★、外国文学、言語と文化、留学認定科目（基礎科目・人文）
		社会科学科目群 法学★、地理学★、文化人類学A・B、現代心理学、心理学概論、文化論概論★、異文化理解とコミュニケーション、異文化摩擦とコミュニケーション、国際地域研究基礎論、ジェンダー論I・II、留学認定科目（基礎科目・社会）
		自然科学科目群 基礎数学、数学概論、線形代数学I~IV、解析学I・II、科学史A・B、技術史A・B、物理科学概論A・B、環境科学概論A・B、生命科学概論A・B、留学認定科目（基礎科目・自然）
総合科目群		教養演習I A、教養演習I B、教養演習II A、教養演習II B、教養演習I C ☆、教養演習II C ☆、日本事情A~C、ICTベーシック、共通総合講座I・II※、国際文化特殊講義A・B、Top School Seminar (International Cultures) A・B、留学認定科目（基礎科目・総合）
外国語科目	16	※2言語を選択必修とし、所定の単位（英語は6単位以上、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語および日本語は8単位以上）を修得すること 英語 英語I~IV、ACE Content-based Study、ACE General Communication Skills、ACE Exam Skills、ACE Presentation Skills、ACE Academic Training ドイツ語 ドイツ語I~IV（※ドイツ語を選択必修の外国語とする学生は、「ドイツ語I」2単位を必修） フランス語 フランス語I~IV（※フランス語を選択必修の外国語とする学生は、「フランス語I」2単位を必修） 中国語 中国語I~IV（※中国語を選択必修の外国語とする学生は、「中国語I」2単位を必修） スペイン語 スペイン語I~IV（※スペイン語を選択必修の外国語とする学生は、「スペイン語I」2単位を必修） 日本語（外国人留学生のみ） 日本語I~IV（※日本語を選択必修の外国語とする留学生は、「日本語I」2単位を必修）
学部間共通外国語		※「学部間共通外国語」科目のうち、政治経済学部で設置している言語科目
健康・運動科学科目	4	1年次必修2単位 運動学演習I-1、運動学演習I-2 選択必修2単位 運動学演習II-1・II-2、生涯スポーツ演習、運動学演習III-1・III-2、運動学演習IV-1・IV-2、健康・運動科学I~III
基本科目	3	3学科共通基本科目 海外留学演習I、海外留学演習II 政治学特殊講義A・B、社会学特殊講義A・B、経済学特殊講義A・B、経済政策特殊講義A・B 海外留学演習III、海外留学演習IV、留学準備講座、留学基礎講座 就業力育成総合講座A~E 留学認定科目（基本科目・3学科共通）

学科関係科目 科目詳細は各学科ページを参照してください

3学科共通関係科目	日本・アジア文化論A~D、日本・アジア地域論A~D、ヨーロッパ文化論A~D、ヨーロッパ地域論A~D、アメリカ文化論A・C・D、アメリカ地域論A・C・D、連環地域文化論A~D、身体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、留学認定科目（応用科目・3学科共通）
専門演習科目	専門演習（卒業論文）IA、専門演習（卒業論文）II A、専門演習（卒業論文）III、専門演習（卒業論文）IV
専門研究科目	●専門演習（卒業論文）履修者 専門演習（卒業論文）IB、専門演習（卒業論文）IIB いずれも専門演習担当教員が指定した授業を履修すること ●専門演習（卒業論文）を履修しない者 専門研究I、専門研究II、専門研究III、専門研究IV
総合講座科目	応用総合講座A~G
特殊講義科目	政治学特殊講義C~F、社会学特殊講義C~D、経済学特殊講義C~D、経済政策特殊講義C~D、国際文化特殊講義E~F、Top School Seminar (International Cultures) C~F、留学認定科目（応用科目・特殊講義）
情報科目	ICT統計解析入門、ICT統計解析応用、ICTデータベース入門、ICTデータベース応用、ICT画像編集入門、ICT画像編集応用、ICT動画編集入門、ICT動画編集応用、ICT音楽編集入門、ICT音楽編集応用、ICTプログラミング入門、ICTプログラミング応用、ICTWebページ作成、ICTeラーニングデザイン入門、ICTeラーニングデザイン応用、ICTプレゼンテーション
資格課程科目	日本史概論、東洋史概論、西洋史概論、地誌学概論、人文地理学概論、自然地理学概論、法律学概論、倫理学概論
グローバル人材を育成する全学部共通科目	グローバル人材育成プログラム科目
卒業に必要な単位に含めない	実習科目（社会実習） 大学院政治経済学研究科設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目
合計 124 単位修得	①専門演習履修者は、4年次に通年で最低4単位以上を修得しなければならない。ただし、大学間および学部間の協定校・認定校への留学プログラムまたはそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。 ②専門演習を履修しない者（コース登録者）は、在学最終学期に最低4単位以上を修得しなければならない。ただし、大学間および学部間の協定校・認定校への留学プログラムまたはそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。 ③上記①の4年次および②の在学最終学期における単位修得の要件には、外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。

(1) 表中の卒業に必要な単位数【基礎科目28単位、外国語科目16単位、健康・運動科学科目4単位、基本・応用科目42単位、原典研究科目4単位】を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位数に含める。
 (2) 専門演習を履修しない者および未修得者は、別に定めるコース指定の科目を20単位以上修得しなければならない。

文化や社会にも精通する 教養豊かな専門人を育む 教養演習ゼミナール

教養演習 ヨーク,ジェームズゼミナール (テーマ)ゲームの教育的及び社会的可能性について

「ゲーム」を理解し、自ら制作することで、 教育分野や社会での活用方法を探る。

私のゼミナールでは、「ゲーム」を幅広く取り扱っています。主流の「テレビゲーム」だけでなく、ボードゲーム、カードゲーム、校庭の遊びなどもゲームの一種として捉え、研究の対象としています。特に重視しているのが、教育現場における指導の実践に直結するツールとしてのゲームの活用です。学会誌などによれば、教育現場は最先端の技術に偏りがちな傾向がありますが、私は教育に活用可能な実践的ツールに焦点を当て、教室内でのゲーム活用に適した教授法を探索してきました。

2010年以降に教育分野で流行した「ゲーミフィケーション」[※]に対しては批判的な立場を取っています。ゲーミフィケーションは不必要なコントロール層を追加するだけであり、教育には本質的で人間中心なアプローチが必要だと考えています。ゲームを基盤とした学習(Game-Based Learning)は、こうした変化を具体化する一つの手段となり得ますが、その実現には、多様な教育学的理論への理解と、それらの利

点と課題の認識、そして具体的かつ有意義な実践が求められるからです。ゼミナールでは、「教師主体」の学習と「学生中心」の学習のバランスを保つようにしています。たとえば、春学期の2コマ連続授業では、1コマ目は私が、教育やゲームリテラシーに関連するトピックを紹介し、2コマ目は学生たちが主体で、私が1コマ目で紹介した内容に基づいたゲームを制作し、ゼミ全体で共有します。これで学生たちは、学んだ内容を実践を通じて理解できます。この取り組みが秋学期に行う教育用ゲーム制作の課題にもつながっています。

私のゼミナールで重視しているのは、社会貢献を目的としたオリジナルゲームの制作です。これは卒業論文の一環で行っており、学生たちは現実にある問題を解決するようなゲームをデザインしていきます。そのため、学生たちは自分たちのゲームをプレイする参加者からデータを収集し、そのゲームが想定していた遊びを促進できたかを分析した研究報告書を作成します。

学生の皆さんには、このゼミナールを通じて、起業家精神や協調性を養い、自己分析もできる力を身につけてほしいと思います。

※レベルアップやスコア競争などのゲームの要素や考え方をゲーム以外の領域に応用すること



MESSAGE

ヨーク,ジェームズ 准教授

政治経済学部は、政治・経済・政策[※]の3学科を中心に、多彩で専門性の高い授業を自由に選べる学部で、興味や将来の方向性に合わせた学びを実現できる環境が整っています。さらに、政治・経済・政策以外にも専門分野の異なる教員陣が多様な視点を提供し、幅広い知識を深めることができるほか、英語で学ぶ授業や留学準備講座など英語学習の機会が豊富にあります。ここ明治大学政治経済学部で、一人ひとりが自分らしく学びを追求し、成長することを期待しています。

PROFILE

イギリス出身で、2005年来日しました。小室真子さんが留学していたレスター大学で修士課程と博士課程を修了しました。2010年からゲームと教育の融合性について研究を行っています。研究テーマとしてゲームを取り上げるだけでなく、ゲーム開発にも取り組んでいます。

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。(2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じることがあります。)

STUDENT VOICE

ゲームや遊びを通じて 実践的に問題解決能力を培う



政治学科1年
久野 帆南
東京都立
小岩高等学校卒業

教養演習は「ゲームや遊びの教育的かつ社会的可能性」というテーマを選びました。授業では、ゲームや遊びの中で生じる様々な疑問について、その解決方法を仲間とともに試行錯誤して探求。この経験を通じて、論理的思考や戦略的な判断力などの問題解決能力を身につけることができました。特に、課題に対して何が本質的な問題なのかをしっかりと見定めてからその解決

策を考え、より効果的な方法を見つけ出すというスキルは、新しい環境や異文化とかわる場面でも役立つと感じています。将来の仕事においてもこの能力を活かし、消費者のニーズを的確に理解しながら、柔軟で適切なサービスを提供できる人材を目指したいと思います。

1・2年次 教養演習

教養を深めることを目的とした授業で、文化・社会・言語等に関するテーマのゼミナールを設置しています。

【政経教養セミナー】教養演習のゼミナールに所属する学生の共同論文集として、「政経教養セミナー」を毎年発行しています。

■教養演習IA・IIA【春学期開講】／教養演習IB・IIB【秋学期開講】

氏名	演習テーマ
相原 耕作	社会科学スタディーズ入門
石山 徳子	アメリカ合衆国の社会・文化について考える
植田 麦	生成AIを活用する
牛山 久仁彦	地域社会を考える意義と手法を学ぶ
兼子 歩	ジェンダーで社会を学ぶ／現代アメリカを考える
飯屋 浩子	演劇を介してコミュニケーション力を向上させよう
木内 英美	中勘助と宮沢賢治の作品を「抵抗としての児童文学」として読む
陣野 俊史	サッカーを考え尽くす
杉田 弘毅	メディアの仕組みとその役割

津田 太郎	世界のニュースを英語で読み、日本語で語る Reading about Current Issues in English-language Media
樋口 収	社会科学スタディーズ入門
森本 陽子	英語漬け、最新学習法習得とイベントを通して留学に備えよう!!
山岸 智子	中東の戦争と平和を考える
ヨーク, ジェームズ	ゲームの教育的な可能性について/ デジタルゲーム制作を通して、プログラミングの基礎を学ぼう

※2025年度の開講テーマです。開講期については、演習要項で確認してください。年度により、テーマは変更となります。

■教養演習IC・IIC【通年開講】

氏名	演習テーマ
アベシヘムディヤン セラゲ,ニロスC.	Changing Power Dynamics of Asian Politics
飯嶋 曜子	宮本常一『私の日本地図』を読む
石井 千春	日本近現代文学を読む
井上 和哉	日韓食文化比較
海野 素央	ドナルド・トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル
遠藤 直樹	可換環論
大森 正之	「文系の環境問題スペシャリスト養成」講座
春日井 淳夫	体力・運動能力・健康度を探る
勝 悦子	国際金融と日本経済
金子 隆一	人口とライフコースの変化から視る未来社会
後藤 光将	スポーツを活用した社会課題の解決、スポーツの実践
小西 淳文	JICA「課題別指針」や「SDGs」の理解と企画力・政策立案力の育成
齋藤 雅己	Economic Affairs(経済事情)
佐々木 菜緒	ケベックの「物語」研究
柴崎 文一	プレゼンテーションで世界を変える! ~TEDの世界~
嶋田 直哉	舞台芸術の魅力
ジョージ, ジョニー E. ^{※1}	Language Mysteries
高橋 聡	文庫・新書を通じて人間と社会を知る
高峰 修	ジェンダー研究入門
武田 紘平	理論と実践から自身の体を知る

田村 久男	ドイツ文化、生活と歴史
デヴェラ,ローナ ヴェリア ^{※1}	Japanese Culture in English for Cross-Cultural Exchanges ~国際異文化交流に向けて英語で日本文化を語る~
富澤 成實	夏目漱石と村上春樹を読む
永江 敦	映画を考える、映画で考える
永川 聡	現代ドイツ政治談議
中村 幸一	台湾研究
野口 健	町づくりを考えてみよう
羽根 次郎	貧困と周縁社会 ——ヤクザと革命が生まれる構造的必然性を考える
針ヶ谷 雅子	環境を考える~ともに生きる社会のつくりかた~
平山 茂樹	ダンス・身体・映像
廣部 泉	ブラメリア(アメリカ合衆国探訪)
ブルチャー, ミハエル	Political Thought and the History of Modern Japan
ペナサリオ,ベルルッキ, アントニオ	Crisis and resilience of liberal democracy
堀越 喜晴	クラシック音楽を聴きながら、歴史、時代そして今について考える
本間 次彦	『史記』の世界
宮崎 イクサン	経済指標のwhat and so what
森下 正	ベンチャー・中小企業経営研究
森本 陽美	スポーツと法学

※2025年度の開講テーマです。年度により、テーマは変更となります。

※1) 当該授業の修得単位は、ACE修了要件の上限に2単位まで算入することができます。

知識・経験・自主性を バランスよく身につけながら、 問題解決力を磨くゼミナール教育

専門演習 加藤 久和 ゼミナール 〈テーマ〉地方自治における自治体の政策と経営に関する研究

理論や実証的分析、語学など、 複数の視点から経済課題にアプローチする

私のゼミナールでは、経済社会の諸課題を理論面および実証面から考察し、それを解決するためのアプローチ方法を学びます。具体的には、公共経済学を学ぶことで理論的洞察力を養いつつ、計量分析（データ分析）の手法により現状分析と課題解決のアプローチができるよう指導しています。最終的には、課題解決のための政策提言ができるようになることが目標です。

ゼミナールの特徴的な学びの一つに、外部の政策論文コンテストへの参加があります。3年次の4月からのテーマ検討に始まり、データ分析方法の検討、プレゼンテーションの練習など、12月に開催される全国大会に向けて準備を進めていきます。外部の政策論文コンテストに出場することで、経済社会の課題を知ることとどまらず、実証的な力や政策を考え出す力が養われるとともに、論文作成の過程で、データの収集・分析の手法、ソフトウェアの使い

方などを修得することもできます。

また、グローバルな視点を獲得することにも力を入れています。海外の留学生をできる限り受け入れ、学生にも短期・長期での海外留学を奨励。3年次の外国書研究では、経済政策や公共経済学に関する文献を読むとともに、その講義内の発言はすべて英語に限定し、英語に慣れるチャンスを創出しています。今後、海外の人との交流は欠かせないものとなっていくため、専門分野のみならず、語学・文化に対する理解を深めてほしいと思っています。

ゼミナールは強制されて学ぶところではなく、あくまで自主的に学びを深めていく場であると考えています。そのため、研究テーマや輪読する文献などについても、参加する学生の希望を最大限に取り入れつつ、指導目標と整合性が取れるように努めています。自主的に学び続ける習慣をつけることは、卒業後もスキルをアップデートするために必要な力となります。講義だけでなく、読書や知的交流を積極的に行い、そこから新しいことを吸収できるように成長していきましょう。



MESSAGE **加藤 久和 教授**

政治経済学部は、経済社会の多様な分野を学べる学部です。多くの教育熱心で研究力の高い先生たちが、皆さんを待っています。一生役立つ幅広い知的好奇心を育み、将来の日本を背負う皆さんの学問的な基盤をつくるために、ぜひ政治経済学部を目指してください。

PROFILE

1958年東京都生まれ。筑波大学大学院経営・政策科学研究科修了。（一財）電力中央研究所主任研究員、国立社会保障・人口問題研究所室長などを経て、2006年より現職。博士（経済学）。専門は人口経済学、社会保障論、計量経済学。人口動向や社会保障等に関する実証研究などを行う。著書に『人口経済学』『世代間格差』『やさしい計量経済学』他多数。

STUDENT VOICE

相手の意見について背景から考え 理解することの大切さを学んだ

地域行政学科[※]3年
前 冬磨
和歌山県
私立開智高等学校卒業



この専門演習では、学生一人ひとりが設定されたテーマに基づいて発表し、質疑応答を通じて議論を深めます。自分の発表に対して反対意見や想定外の見解が出てくるとありますが、その意見が生まれた背景について考えることで、物事を多角的に捉える力が身につきました。さらに、研究領域が日常生活に関連した分野なので、行政のサービスや政治系のニュースといった身

近な問題への関心も高まりました。この専門演習で得た力を活かし、相手の意見を理解しながら導いていける人材を目指したいと思います。

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。（2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じることがあります。）

3・4年次 専門演習

3・4年次設置の専門演習には、8割近くの学生が所属しています。70近くの多彩なゼミナールを配置し、学生の学習ニーズに応えています。3・4年次2年間の学習・研究の成果として卒業論文を提出することが義務づけられ、各学期2単位の計8単位を付与します。担当教員の指導を受けながら、学生自身のイニシアチブで研究に取り組み、その成果をアウトプットする、という高次の能力を身につける機会となります。2年次の秋学期に、専門演習入室試験が行われます。

[ゼミ指導型コース制]

専門演習を履修する学生は、ゼミナール担当教員の指導に基づき、自身の研究テーマに沿ったコース・科目を選択し、卒業論文作成をゴールとした体系的な学習を行います。

[政経セミナー]

専門演習のゼミナールに所属する学生の共同論文集として、「政経セミナー」を毎年発行しています。ゼミの仲間と同じ研究テーマに向けて調査・研究を行い、ひとつの論文を書き上げ、それが発行物として後に残るので、学生時代の大きな思い出となるでしょう。

[ゼミナール発表会]

日頃のゼミナール活動の研究成果を発表する場として「ゼミナール発表会」を開催しています。ゼミナール発表会には、卒業生など学外の方も聴講に訪れ、非常にレベルの高い発表会となっています。

■各ゼミナールの紹介

政治経済学部HPにて、各ゼミナールの「研究内容」「授業の進め方」「卒業論文テーマの例」「卒業生の進路」など、様々な情報を掲載しています。



グローバル教育

政治経済学部では、留学の促進や国際的な視野を有した学生の育成を目的として、学部独自の「グローバル教育」を実施しています。

政治経済学部では、これからのグローバル社会に対応するため、強い「個」と高いコミュニケーション能力を有し、他者・多文化への洞察力を備え、それぞれの専門領域において活躍できる人材を育成することを目的とし、先進的な取り組みを行っています。

これらの取り組みを通じて、政治経済学部は明治大学の国際化をさらに推進し、世界に貢献する「グローバル公共人材」育成の拠点となることを目指します。

学部独自の留学プログラム

政治経済学部には、学部間協定に基づく独自の留学プログラムが多数あり、北京大学（中国）、ロンドンスクールオブエコノミクス アンド ポリティカルサイエンス（英国）、南洋理工大学（シンガポール）等の世界トップレベルの大学に留学できます。学部プログラム・大学プログラムを通じて、政治経済学部では毎年多くの学生を海外に留学派遣しています。

政治経済学部 留学プログラム一覧

派遣種類	国・地域名	大学名（プログラム名）
学部間協定留学「授業料免除型」 (1学期 or 1学年間)	タイ	シーナカリンウィロート大学 タマサート大学 チュラロンコン大学
	中華人民共和国	北京大学
	台湾	国立政治大学 国立台湾大学
	大韓民国	延世大学
	シンガポール	南洋理工大学
	ベトナム	ハノイ貿易大学 ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 ホーチミン市経済大学
	インドネシア	ベトラクリスチャン大学
	オランダ	ロッテルダム応用科学大学
	フィンランド	東フィンランド大学
	ドイツ	ノイウムルム応用科学大学
学部間協定留学「授業料負担型」 (最長13週間)	イギリス	ロンドンスクール オブ エコノミクス アンド ポリティカルサイエンス (LSE)・SS*
短期留学 (引率なし型) (2~6週間)	イギリス	ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院 (SOAS) IFCELS・SS*
	ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学
短期留学 (引率あり型) (2~4週間)	アメリカ	ノースイースタン大学
	タイ	シーナカリンウィロート大学 ほか
	オーストラリア	西シドニー大学
ダブルディグリープログラム	タイ	タマサート大学

*SS: サマースクール

習熟度に応じた多彩なプログラム



留学前に基礎英語力を強化する！

- 英語実践力特別強化(ACE)プログラム
- 国際交流学生委員会「The Supporters」
- 英語テスト無料受験(TOEIC®, TOEFL® ほか)



留学を体験する！

- トップスクールセミナー
- 短期留学(引率あり型)
- 短期留学(引率なし型)



留学を実践する！

- 学部間協定留学
[授業料免除型](1学期or1学年間)
[授業料負担型](最長13週間)
ダブルディグリープログラム
- 大学間協定留学

プログラムの選び方

留学や国際交流に対する動機や目的は人それぞれ。自分にぴったりのプログラムを見つけてみよう！

国内で力をつけたい	TOEIC®・TOEFL®・IELTS™等のスコアを伸ばしたい 英語を用いたプレゼンテーション力を伸ばしたい	英語実践力特別強化(ACE)プログラム
	英語で専門分野を学びたい	トップスクールセミナー (専門分野を英語で学ぶ・国内留学体験)
	語学力を伸ばしながら異文化理解を深めたい	The Supporters (政治経済学部 国際交流学生委員会)
春休み・夏休みを利用して留学したい	学部を通じて手続きを行いグループで留学をしたい	短期留学プログラム(引率あり型)
	自分で手続きを行いより実践的な留学をしたい	短期留学プログラム(引率なし型)
1学期間以上留学したい	1~2学期間留学して海外大学で授業を履修し 単位を修得したい	学部間協定留学プログラム
	3学期間以上留学して明治大学と 海外大学の両方で学士号を取得したい	ダブルディグリープログラム
グローバル社会で活躍できる人材になりたい 英語を用いて働いている人の話を聞いてみたい	英語を用いた仕事(キャリア)を選択肢としたい	グローバルキャリア形成(GCD)プログラム

STUDENT VOICE 学部間協定留学(短期) 【タイ】

タイの学生と英語を使って交流。コミュニケーション能力が格段に向上しました



経済学科1年
門倉 咲綺
東京都
私立学習院女子高等学校
卒業

海外での中長期留学を見据えて、まずは海外での学生生活を体験してみたいと考え、短期留学に参加しました。留学先のタイは英語が第一言語ではないため、英語を日常的に話せるのかを懸念していましたが、首都のバンコクはほとんどの場面で英語が通じる環境で、英語でのコミュニケーションに困ることはありませんでした。タイの学生は皆とても優しく接してくれて、お互いに英語が第一言語でない中でも懸命にお互いの言いたいことを伝え合い、楽しく交流することができました。放課

後に観光地やナイトマーケットへ一緒に出かけたことは、とても良い思い出です。この留学で培った英語力やコミュニケーション能力は、私が所属している政治経済学部の国際交流学生委員会The Supportersでの活動や、ACEの授業などで活かせていると感じます。また、当初の目的であった中長期留学への参加意欲もさらに高まりました。

STUDENT VOICE 学部間協定留学(長期) 【台湾】

留学先であらゆる出来事を乗り越え、人間的な「強さ」が身についた



経済学科3年
村上 凜花
東京都
私立明治大学付属
八王子高等学校卒業

グローバル化が進む現代を生き抜くためには、外国語でのコミュニケーション力や、世界を自分の目で見る必要があると感じ、留学を決めました。留学先の学びで印象に残っているのは、グループプレゼンテーションの授業です。異なる国籍を持った仲間同士がお互いの意見をぶつけ合いながらプレゼンテーションの構想を練る経験は、引っ込み思案で、自分の意見を主張するのが苦手だった私にとって、殻を破る良い機会になりました。留学中に遭遇した一つひとつの経験が、私の

決断力や判断力を高めてくれる貴重なものでした。帰国後も、一見意味のない出来事がどこかで自分を成長させてくれると信じ、何事も全力で取り組むようにしています。留学を通して、学力はもちろん、人間としての器を成長させることができたと感じています。

英語実践力特別強化 (ACE) プログラム



ACEとは“Advanced Communicative English”の略で、通常の英語クラスとは別に設けられた政治経済学部独自のプログラムです。グローバル社会で通用する実践的な語学力を強化するための少人数の授業で、学生の主体的な学びを促すために多様なアクティビティが用意されています。ディスカッションやプレゼンテーションスキルの強化はもちろんのこと、TOEIC® やTOEFL® などの資格試験や留学準備対策、ニュースメディア等を活用して社会事情や文化的背景を学ぶ授業まで、様々な内容の授業が数多く設置されています。

「ACE」授業内容

ACE Content-based Study

教養科目などの専門家による、英語による文献、映像、講義などを通してのより高度な内容の授業。

ACE General Communication Skills

英語コミュニケーション能力の向上にフォーカスした講義を展開する授業。

ACE Exam Skills

TOEFL® (主に留学の際に使われる検定試験)、IELTS™、TOEIC® のスコアを上げるための授業。

ACE Presentation Skills

英語文献でリサーチし、英語でプレゼンテーションおよび質疑応答をするスキルを伸ばす授業。

ACE Academic Training

海外大学で要求されるレベルの英語の読み書き、講義やディスカッションへの参加に必要なスキルを身につける授業。

※新カリキュラム検討により変更となる場合があります。

■紹介ページ

https://www.meiji.ac.jp/seikei/govern_special/aceprogram.html



STUDENT VOICE

ACE



経済学科3年
大塚 彩乃
東京都立
両国高等学校卒業

英語「を」学ぶのではなく、英語「で」学ぶ。 まるで留学しているかのような理想的な環境

高校時代に留学を経験し、英語力を維持するために、英語を学ぶのではなく、英語で授業を受けたいと考えたのがACEに参加したきっかけでした。勉強や発表のためだけでなく、授業内の会話もすべて英語で行われるため、留学に近い形で授業を受けることができます。ACEを受講している同級生の多くが、留学を考えていたり、英語を話すのが得意だった

りと向上心が高く、良い影響を受けました。また、Content-based studyでは、小学生に向けてSDGsの授業を英語で実施。日常会話から専門的な分野まで、英語でリサーチ、議論、発表までを一貫して行う能力が培われました。私は将来、国際系の仕事に就くことを目標にしており、ACEで得た力は必ず武器になると考えています。

国際交流学生委員会「The Supporters」

初めまして！

明治大学 政治経済学部 国際交流学生委員会『The Supporters』です！

私たちは留学生にとって日本での学生生活がより楽しく、安心なものになるよう、様々な活動を行っています！

短期留学生に向けてはウェルカムパーティや合宿、長期留学生に向けては観光スポット巡りや、日本文化体験などを企画しています！その他企画も盛りだくさんなのでぜひ活動をチェックしてみてください！

多くの留学生と交流ができることに加え、学部内に多くの友人ができることもThe Supportersの魅力です！

国際交流、イベントの企画運営、新しいアイデア実現などに興味のある方、そんなあなたにぴったりのThe Supportersと一緒に活動してみませんか？



■紹介ページ

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/original/thesupporters.html>



トップスクールセミナー

政治経済学部では、世界各国の「トップスクール」から教員・研究者を招へいしています。各教員は、政治学・経済学・社会学・行政学・歴史学といった専門分野の講義を英語で実施しています。これらの授業を「トップスクールセミナー」と呼んでいます。

学生は日本にいながら、特別な費用をかけずに世界の「トップスクール」での授業を体験でき、英語力を磨くだけでなく、専門分野に対する興味や視野を広げることができます。また、将来の留学に向けた「留学体験」ができる、貴重な機会にもなります。

■紹介ページ

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/original/topschool.html>



▶過去にトップスクールセミナーを担当した教員の所属大学、所在国、専門分野（一例、国名順）

 インドネシア大学 (インドネシア)
東南アジアをめぐる国際関係

 オタワ大学 (カナダ)
ポストケイネズ派経済学入門

 タマサート大学 (タイ)
グローバル公共政策とガバナンス

 ロンドン大学
アジア・アフリカ研究院 (英国)
欧州の金融システムと経済問題

 西シドニー大学 (豪州)
日本をめぐる国際関係

 カリフォルニア大学
パークレー校 (米国)
環境政策、公共衛生学

STUDENT VOICE

トップスクール セミナー

政治学科4年
長崎 春香
東京都立
小平高等学校卒業



国内でも「英語で」学べる環境。 英語を使う力が自然と身についた

国内にいながら海外の教授の授業を受けることができる点に魅力を感じ、参加を決意。高い志を持って授業に参加している学生や、同じ分野に興味を持つ学生と交流することで、刺激を受けながら楽しんで学習できました。授業でのプレゼンやレポート作成では、情報収集から発表に至るまでの一連の流れをすべて英語で行う必要があります。「英語を学ぶ」授業は数多くありますが「英語で学ぶ」

授業は貴重です。語学力はもちろん、英語で専門的な学習をする力を身につけることができたと考えています。また、トップスクールセミナーでは英語に触れる機会が多く設けられており、以前よりも英語を読んだり話したりすることへの抵抗が少なくなりました。こうした経験は、私が所属している国際交流学生委員会イベントを開催し、留学生と交流する際にも役立っています。

世界で通用する力をつける グローバルキャリア形成(GCD)プログラム

所属学科それぞれのカリキュラムに応じた科目を自由に履修しながら、グローバル社会で通用する実践的語学力・コミュニケーション能力に加え、国際社会に関する基礎的知識を習得。柔軟な思考力・洞察力および優れた問題解決力を持ち、世界を舞台に最前線で活躍できる人材を育成します。

- POINT!**
- 1 優秀な成績を修めた学生に奨学金(支援金)を授与*
 - 2 グローバルキャリアを考え、準備する機会を提供
 - 3 プログラムの修了要件を満たした学生に修了証を授与

※海外留学やインターンシップなどに利用可能

1年次からの参加基準例

参加希望者の中から、入学時に行われるTOEIC®のスコアにより選抜します。それ以外の参加希望者については、以下の語学基準のいずれかを満たす場合、参加できます。

英語	TOEFL® iBT 68 IELTS™6.0以上
ドイツ語	Goethe-InstitutでGoethe-ZertifikatB1以上の級において総合点6割以上
フランス語	DELF・DALFでDELF B1以上の級において合格
中国語	HSKで筆記試験3級以上の級において総合点6割以上、および口頭試験中級以上の級において6割以上
スペイン語	DELEでB1級以上の級において合格



1 就業力育成総合講座

海外で活躍する外務省やJICAなどの援助機関、開発コンサルタント、建設会社、商社などの職員・社員を招へい。貴重な体験から国際的な場で就業・研究する際の留意点などを学べる講座です。また、日本で活躍する外交官や国際機関職員からも様々な情報を得て、今後の進路につなげます。海外での活躍を想定し、その実現に向けた課題を整理して自ら取り組めることを目標としています。

2 英語実践力特別強化(ACE)プログラム

グローバル社会で通用する、コミュニケーション能力の強化

3 トップスクールセミナー

日本にいながら、特別な費用をかけずに世界基準の授業を体験

4 留学・海外インターンシップ

大学全体のプログラムの他、学部間協定に基づく政治経済学部独自の留学プログラムを多数実施

5 英語を用いた教養・専門科目の学習

日本語だけでなく、英語で展開される教養・専門科目を受講することで、的確な語彙を修得するとともに、専門知識や概念に関する理解を深め、グローバル社会の幅広い分野で即戦力となる学生を育てます。



「世界を舞台に活躍する人材へ」 卒業後のキャリアイメージ

国内・海外グローバルビジネス	外務省・国際機関職員
特定非営利活動法人(NPO)	国際協力機構(JICA)など
	海外の大学、日本・海外の大学院での研究



PICK UP

グローバルキャリアについて考え、準備する機会を提供

GCDフォーラム

政治経済学部卒業生による講演会

学生が早期に自身のキャリアイメージを形成することを支援するために、現在グローバル社会で活躍する政治経済学部卒業生によるフォーラムを定期的で開催しています。「現在の仕事内容」「進路選択のポイント」や「学生時代にやるべきこと」など、卒業生の生の声を聞くことができるため、非常に満足度の高いイベントとなっています。

GCDオフィスアワー

国際経験が豊富な教員による個別相談

履修から留学・就職に関する内容まで、国際経験豊富なプログラムアドバイザーに直接相談することができます。オフィスアワーを定期的に設置しています。

プログラムアドバイザー

MESSAGE

グローバル世界の進展につれて、国際社会と接点のある業務はさらに拡大することになり、これに対応できる人材がますます重宝されるようになります。皆さんもチャレンジしましょう！将来がさらに開けます。

小西 淳文 特任教授

PROFILE -----
開発社会学を学びJICA、外務省に。ザイール、セネガル、ベナンでの滞在計10年。他にも約40カ国に出張経験あり。



GCDプログラム紹介ページ





西川 伸一 政治学科長

古代ギリシアの哲学者アリストテレスが「人間は政治的動物である」と語ったように、政治学は人間ならではの現象を探る学問です。本学の政治学科では、政治学と社会学の多彩な科目を通じて、基礎から応用まで、幅広く学ぶ機会を提供しています。

政治学科の特色は、単なる知識の習得にとどまらず、自分自身の「座標軸」を育む点にあります。情報過多で、ときに人々を扇動しようとするフェイクニュースにあふれる現代社会では、自ら判断基準を持つ力が求められています。本学科では、批判的思考を鍛え、冷静かつ客観的に世界を見つめる目を養います。「まず疑ってかかれ」という社会科学の巨人マルクスの言葉の通り、表面的な情報に流されない力を育むことが目標です。

政治学とは「影響力」を解明する学問です。国際社会から日常生活に至るまで、あらゆる場面で観察されるこの力を、理論と実践を通じて様々な角度から探究していきましょう。政治と社会に対する理解を深め、自分の中に確固たる判断基準を持つ人材として、未来を切り拓く力を育んでください。

[政治学科関係科目]

※★は半期集中科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	憲法A、憲法B、政治学基礎、政治理論基礎、政治学・社会学総合講座、政治学原論★		政治思想史、政治理論史、日本政治史★、西洋政治史★、現代思想、現代政治理論、日本政治思想史、日本政治文化論、メディアリテラシー論、国際コミュニケーション論、マスメディア論、メディアと世論	
基本科目		行政学基礎、行政理論基礎、社会学A、社会学B、ジャーナリズム論、メディアコミュニケーション論、統計学、社会学方法論、Top School Seminar (Politics) A・B、Top School Seminar (Sociology) A・B	自治体経営論★、国家論、現代国家分析、国際政治学★、都市政策、都市行政、政治過程論★、政治体制論、政治体制変動論、比較政治論★、比較政治論(東アジア)★、計量政治学、政治行動論、国際関係史★、アジア政治論、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、現代社会学A、現代社会学B、現代社会心理学A、現代社会心理学B、産業心理学、消費心理学、社会調査法、フィールドワーク論、比較社会学★、民俗学A、民俗学B、社会人類学A、社会人類学B、地域開発論、地域振興論、地域情報論、応用数量分析、国際法A、国際法B、行政法★、Top School Seminar (Politics) C～F、Top School Seminar (Sociology) C～D	
選択科目				

※他学科関係科目も履修可能

PICK UP MESSAGE

「当たり前」の背後にある前提を問う

政治過程論

加藤 言人
専任講師



「投票はした方がよい。」「政治に無知なのはよくない。」このような主張を、ごく当たり前にも聞かれます。しかし、なぜ投票は「よくて」、政治に無知なのは「よくない」のでしょうか。そもそも「よい」とは何でしょうか。政治過程論では、政治に関する「当たり前」な主張が、どんな暗黙の前提をもとに成り立っているのかについて、政治的意思決定のメカニズムを理解することを通して迫ります。

権力関係としての「政治」

比較政治論

ベナサリオ・ベルルッキ、アントニオ
専任講師



「政治」と聞くと、多くの人には「パワー(権力)」を思い浮かべるかもしれません。確かに、政治を学ぶことは、権力をめぐる人間関係を学ぶことです。人々は目標をもって、それを達成するために他者に影響を与えたり、逆に他者の影響から抜け出したりに生きています。このような権力関係を科学的に分析する学問が政治学です。政治の勉強は単に政府や公的な事柄だけではなく、もっと広く私たちが暮らす世界を深く理解するための鍵でもあります。現代社会が抱える様々な政治的な問題や意思決定について、ぜひ一緒に学びましょう。

STUDENT VOICE

政治学を中心に多彩な分野の学びを通じ、日常生活や仕事にも活用できる多角的な視点や柔軟な考え方を獲得できた



政治学科4年
小西 春香
大阪府
私立四天王寺高等学校卒業

[私の時間割(4年次)]

科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	消費心理学	-	日本政治思想史 専門演習	専門演習	-
2	-	表象文化論	-	ビジネスと法A (集中講義)	-	-
3	-	連環地域文化論II	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

Q 政治学科を選んだ理由は？

Answer 政治や社会への疑問に向き合うため、大学では自分が未知の視点や考え方に幅広く出会うことが必要だと感じていました。そこで、政治学を中心に学びながら、社会学や他の多彩な領域についても選択することで、思いがけない発見と学びが期待できると考えました。

Q 印象に残っている授業は？

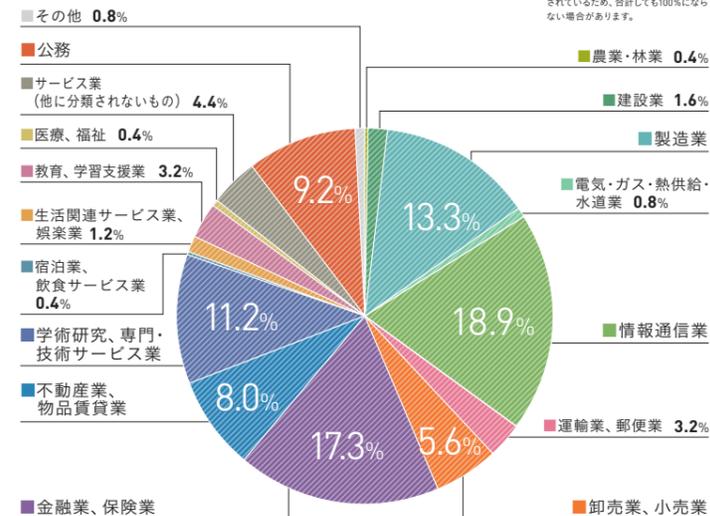
Answer 消費心理学です。以前からマーケティングにも興味があり、サークルで独自に勉強していたところ、政治経済学部はこの分野に関連する講義があると知って受講しました。人間心理を客観的に学ぶことで、日常生活にもたくさんの発見があり、とても興味深いです。

Q 学科の学びを、将来どのように活かしたいですか？

Answer 政治学科で培った、様々な意見や知識を結びつけ、多角的な視点から物事を捉える力は、これからの仕事や生活にも役立つと感じています。社会に出ても柔軟な考え方や広い視点を持つことを忘れずに、価値観をアップデートさせながら問題に向き合い続けたいと思います。

DATAで分かる政治学科

2023年度業種別就職状況



※グラフ中のパーセンテージは四捨五入されているため、合計しても100%にならない場合があります。

2023年度就職実績

東京特別区	大和証券(株)
みずほフィナンシャルグループ	デロイト・マツワフィナンシャルアドバイザリー合同会社
(株)三菱UFJ銀行	東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)
アビームコンサルティング(株)	東京都庁
(株)NTTデータグループ	TOPPAN(株)
(株)NTTドコモ	日本通運(株)
(株)ジェシービー	(株)ニトリ
(株)横浜銀行	野村證券(株)
リソナグループ	三井住友信託銀行(株)
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	三菱HCキャピタル(株)
アクセンチュア(株)	(株)大林組
アサヒ飲料(株)	日本航空(株)
(株)キーエンス	日本テレビ放送網(株)
国家公務員(一般職)	(株)バンダイ
(株)商工組合中央金庫	森永製菓(株)



平口 良司 経済学科長

経済とは、個人や組織がモノやサービスをやり取りする仕組みです。そして、この仕組みを解明し、社会の課題に取り組むのが経済学の役割です。本学経済学科では、理論、実証、歴史といった多角的な視点から経済を探究し、近接領域である政治学との関連科目も履修可能な充実したカリキュラムを提供しています。また、多数開講されている少人数制のゼミナールでは、論文執筆や研究発表のためのきめ細かな指導が行われ、学外の論文コンテストで成果を上げる学生もいます。さらに、留学制度とともに、世界各国での学びで役立つ高度な語学力を育成するプログラムが整っていることも、魅力になっています。

本学科が目指すのは、様々な授業での学びを通して、現代日本社会や世界の諸問題を主体的に分析し、解決へと導くための思考力や判断力の育成です。ぜひ、ゼミナールなどを通じて多様なバックグラウンドや考え方を持つ学生と積極的に交流してください。仲間と互いに協力し合いながら、複雑な問題を解決していく力を育ててほしいと思います。

[経済学科関係科目]

※★は半期集中科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、経済史*	経済政策、財政学、経済学史、現代経済事情	社会経済史、近代経済学史*、国際経済史、現代経済史、社会経済思想史*、近代経済学*、経済統計学*、経済変動論*、計量経済学*、数理経済学*、経済政策原理、国際経済学*、現代日本経済論、産業組織論*、金融論、金融政策、国際金融論*、経済地理学*、地域開発論、地域振興論、地方財政論*、中小企業論*、地域産業論*、人口学*、労働経済学*、社会保障論*、協同組合学*、現代経済政策*、食料経済学*、開発経済学*、国際経済政策*、財政政策*、環境経済学*、租税論、応用数量分析、Top School Seminar (Economics) C~D、Top School Seminar (Economic Policy) C~D	
選択必修科目				
選択科目	経済原論*、統計学*、数量経済分析、日本経済史*、経済思想*、社会思想史*、簿記論*、社会科学方法論*、Top School Seminar (Economics) A・B、Top School Seminar (Economic Policy) A・B			

※他学科関係科目も履修可能

STUDENT VOICE

経済学に留まらない広範な学びから
社会の仕組みを研究。ただ知識を得るのではなく、
それを伝える力と論理的思考力が身についた



経済学科3年
植野 悠生
富山県立
富山中部高等学校卒業

[私の時間割(3年次)]

科目名の上段は春学期・下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	地域産業論	財政政策	-	応用総合講座H 国際金融論	-	-
2	地域産業論	財政政策	-	-	-	-
3	-	地方財政論	-	-	専門演習(外国語研究・原典研究I) 専門演習(外国語研究・原典研究II)	-
4	国際金融論	-	-	-	専門演習(卒業論文) 専門演習(卒業論文)	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

Q 経済学科を選んだ理由は？

Answer 経済系の学部を志望していた私が、明治大学の政治経済学部を選んだのは、経済学に留まらず幅広い分野の学びから社会の仕組みについて研究できると考えたからです。政治学やグローバル系の科目など、多彩な選択肢が用意されている点に大きな魅力を感じ、この学部を選びました。

Q 印象に残っている授業は？

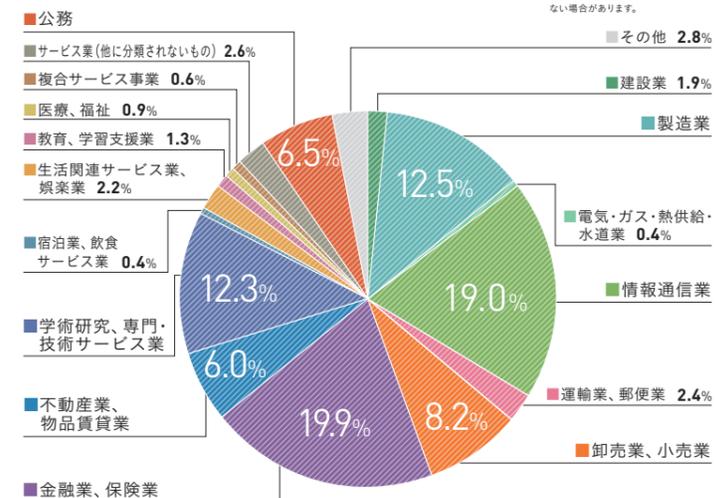
Answer 応用総合講座Hです。この講義では、先生が2週間ごとに交代して教えてくださるオムニバス形式が採用されており、内容は全て英語で行われます。経済に関する多くのテーマを広範に学べるだけでなく、授業を通して英語でインプット・アウトプットする能力も身につけられる点が魅力です。

Q 学科の学びを、将来どのように活かしたいですか？

Answer 経済学科では、ただ知識を得るだけでなく、それを分かりやすく人に伝える経験も多く積むことができました。特にゼミのディベートを通して、論理的な思考力と簡潔に説明する力が身につきました。将来はこのスキルを活かし、周囲と協力しながら課題解決できる人を目指します。

DATAで分かる経済学科

2023年度業種別就職状況



※グラフ中のパーセンテージは四捨五入されているため、合計しても100%にならない場合があります。

2023年度就職実績

みずほフィナンシャルグループ	(株)キーエンス
国家公務員(一般職)	(株)ジェーシービー
日本電気(株)	ソフトバンク(株)
アクセンチュア(株)	東レ(株)
EY新日本有限責任監査法人	野村證券(株)
大和証券(株)	三井住友カード(株)
東京特別区	(株)三井住友銀行
東京都庁	三井住友信託銀行(株)
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	三井住友ファイナンス&リース(株)
(株)NTTドコモ	三菱UFJ信託銀行(株)
(株)商工組合中央金庫	(株)サイバーエージェント
住友不動産販売(株)	双日(株)
有限責任監査法人トーマツ	日本放送協会
レバレジーズ(株)	東日本旅客鉄道(株)
NECソリューションイノベータ(株)	リソナグループ

PICK UP MESSAGE

私たちが暮らす社会の幸せを考えよう

労働経済学

労働経済学は「働く」ことに注目して、人や社会が幸せになるための道筋を考える学問です。今起きている社会問題、たとえば賃金格差や長時間労働はなぜ起こるのでしょうか。この授業では、問題の原因を探り、解決のための有効な対策を模索します。私たち一人ひとりの幸せ、ひいては社会全体の幸福を高めるために何が出来るのかを、経済学を学びながら一緒に考えてみませんか。

原 ひろみ
教授



経済データ間の関係について考えよう

経済統計学

皆さんは、ニュースでGDPやインフレ率、失業率といった言葉を聞いたことはありませんか。これらの経済データの間にはどのような関係があるのでしょうか。経済理論では、インフレ率と失業率の間には負の相関関係があると言われていました。経済統計学では、これらの経済データの間、実際にどのような関係があるのかについてパソコンで分析を行います。経済データの分析を通して一緒に実体経済について考えてみませんか。

関根 篤史
准教授





牛山 久仁彦 政策学科設置準備委員会委員長

政策という言葉には、さまざまな意味があります。広辞苑によると「政府・政党などの方策ないし市政の方針」とされていますが、実際には、政府等の活動を超えて、企業やコンサルティングが活動する経済等の幅広い分野で、何らかの問題を解決するためにとられる目標志向的行動やその内容を指すものとなっています。政策学科では、政治や経済についての理論的な研究を踏まえ、社会の多様な分野で生じる課題を解決できる人材を育成いたします。政策形成においては、EBPM(Evidence Based Policy Making)といわれますが、文字通りエビデンス(証拠)を基にして政策を考えることが求められています。そして、基本的なデータ(エビデンス)から政策を導き出すと同時に、重要となるのがロジック(論理)です。都合の良いデータや先行事例を引き合いに政策を論じてもそれではEBPMにはならないので、誰をも納得させるロジックを組み立て、政策を立案する必要があります。政策学科は、理論から応用に至る実践的なカリキュラムに基づき、課題の発見から基礎データの分析、さらには現実の政策の立案・実施に至る実践的な能力を身につけ、国・地域、そして世界に翔く人材を育成いたします。

[政策学科関係科目]

※★は半期集中科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	政策学基礎、憲法B、政治学基礎、政治理論基礎、マクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅰ	行政学基礎、行政理論基礎、政策研究総合講座、経済政策		
選択必修科目				
基本科目	民法(総則)、民法(物権)、地域研究論、地域分析法、簿記論★、統計学★、社会科学方法論★、数量経済分析、社会学A、社会学B、憲法A、マクロ経済学Ⅱ、ミクロ経済学Ⅱ、政策フィールドスタディーズ、政策評価・デザイン、財政学、現代経済事情			
選択科目			地域行政学★、都市政策、都市行政、地方自治法、自治体経営論★、地方財政論★、社会保障論★、情報政策論、公共政策学★、公会計学★、行政法★、社会福祉政策論、コミュニティ福祉論、地域産業論★、中小企業論★、協同組合学★、食料経済学★、労働経済学★、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、応用政策論A～G、環境経済学★、地域情報論、人口学★、経済地理学★、地域開発論、地域振興論、応用数量分析、民法(債権)、民法(家族法)、経済法★、租税論、経済政策原理、金融政策、現代経済政策★、開発経済学★、国際経済政策★、財政政策★、国際法A、国際法B、観光・文化政策論、社会的企業論、政策マーケティング、政策実践総合講座、政策研究インターンシップ	
応用科目				

※他学科関係科目も履修可能

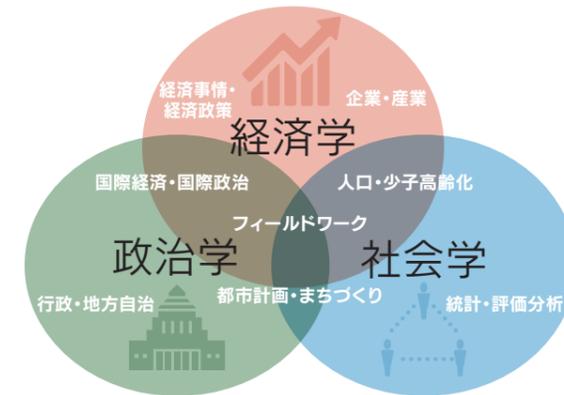
政策学科の特徴

政治学、経済学、社会学などを
バランス良く学ぶ

多様な分野の知識を融合し、実効性の高い解決策や具体的手段を立案する力を応用・実践的に身につけます。

知識、データ、フィールドワークを用いた
実践的な学び

国内外の諸課題を解決するために、多様な学びを組み合わせ、多様な地域をめぐる理論と現実への理解を深めます。



分析力

解決力

基礎知識と手法

課題把握

専門分野

実践

政策学科の概要

■養成する人物像

グローバル社会で生じる多様な社会的現象を歴史や思想を踏まえて多角的な視点から正確に捉え、政治学、社会学、経済学をはじめ、学際的な知識とデータ分析力・語学力などを総動員して国内外の多様な地域をめぐる理論と現実への理解を深め、企業や官庁の最前線で活躍できる能力を身につけることで、各分野の政策を企画・立案し、実行していく人材を養成する。

■目指すべき進路

政策にかかわる主体は多様であり、官民を含めた多様な進路を想定しています。商社、シンクタンク・コンサルティングファーム、金融機関、建設・不動産、メーカー、鉄道・航空会社、観光関連企業、国内外の公的機関、研究者(大学院)、スタートアップ(起業)など。

所在地	明治大学 和泉キャンパス (〒168-8555 東京都杉並区永福 1-9-1【1・2年次】)	入学定員	200名(収容定員:800名)
	駿河台キャンパス (〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1【3・4年次】)	開設時期	2026年4月
		修業年限	4年
	学位	学士(政策学) Bachelor of Policy Studies	

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。(2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じることがあります。)

誰もが心豊かに暮らせる都市づくりを

都市政策

都市政策は、これまでは新たな都市を「つくる」ことに対応してきました。しかし、これからは、人口減少、担い手不足、災害の多発化など多岐にわたる課題を連立方程式のように解きながら、すでに「つくられた」都市の再生・再構築に向けた都市政策が重要になっています。特に、前例のないスピードで人口減少が進む日本は世界の中でも課題先進国です。国内外の都市政策の歴史や理論・手法、法制度と共に、新たな思潮や国・自治体等による取り組みと一緒に学び、議論していきましょう。

野澤 千絵
教授



社会の中心で活躍するためにこそ理論と実態の理解を

行政学基礎
行政理論基礎

カードゲームでも、スポーツでも、「ルール」の理解なしには、プレイすることはおろか、何をやっているのか正確に把握することすら難しいでしょう。この授業では、行政における政策立案等の「ルールとその実際的な運用」について体得することを第一の目標としています。まずは日本と諸外国の諸制度についておさえたうえで、政府における企画立案や人事、予算編成の実態について理解を深めます。

西村 弥
教授



政治経済学部専任教員氏名および研究・演習テーマ（2025年4月1日現在）

氏名・職名	研究テーマ
荒木 淳子 教授	主体的なキャリア形成のあり方とそれを支える組織・社会に関する研究
井田 正道 教授	現代日本における世論および選挙に関する実証的研究
伊藤 剛 教授	国際政治理論、アメリカ外交、アジア太平洋地域国際関係
重田 園江 教授	ミシェル・フーコー研究、社会運帯の思想と歴史、社会契約論
加藤 彰彦 教授	家族・人口・社会構造の国際的ならびに歴史的比較研究
川嶋 周一 教授	独仏関係史、欧州統合史、EU研究
木寺 元 教授	現代日本政治分析、地方政治論
小西 徳應 教授	足尾銅毒事件、日米英における政治倫理の歴史と現状
鐘 家新 教授	社会福祉政策および社会変動に関する日中比較研究
高山 裕二 教授	政治理論史、米仏テモクラシーの比較思想研究
外池 力 教授	テモクラシー論、人権論、民主化論
西川 伸一 教授	日本の裁判所行政を人事の観点から研究する
堀金 由美 教授	開発(経済発展)と政治のかわりを国際比較を通して考えること
水野 剛也 教授	アメリカ・ジャーナリズム史、日系アメリカ人史、漫画と政治家
水戸部 由枝 教授	ドイツ近現代史(セクシュアリティと政治の関係性)
樋口 収 准教授	社会的判断におけるバイアス
相原 耕作 専任講師	日本政治思想史、江戸時代の言語研究と政治思想の関係
碓 陽子 専任講師	医療人類学・ジェンダー/セクシュアリティ研究
加藤 言人 専任講師	民主主義下の世論形成・代表メカニズムに関する数理・実証的検討
ペザリョヘルベック、アントニオ 専任講師	先進民主主義国における政治行動の比較
宮本 雅也 専任講師	社会主義論、平等主義的リベラリズムとフェミニズムの架橋

氏名・職名	研究テーマ
浅井 澄子 教授	情報産業の経済分析および競争政策
大高 研道 教授	非営利・協同組織の研究、社会的排除問題と社会的企業
大森 正之 教授	環境経済理論の形成と発展、環境政策論
小野 島 真 教授	国際課税および北欧諸国における財政改革
勝 悦子 教授	通貨制度と金融政策、国際資金フローと金融規制
小早川 周司 教授	デジタル通貨と貨幣の将来像、デジタル社会における金融インフラ
小林 和司 教授	計量経済学における分析方法
末永 啓一郎 教授	開発経済学、経済発展論、キャッチアップ、イノベーション、経済発展
須藤 功 教授	アメリカの通貨・金融史および国際経済史に関する研究
高橋 信勝 教授	古典派経済学・家事経済学形成史論
武田 巧 教授	制度と制度変化の経済学
永原 裕一 教授	時系列解析の研究および金融・証券市場の実証研究
原 ひろみ 教授	日本の労働市場の機能、労働政策の政策評価
平口 良司 教授	経済成長論
廣松 悟 教授	ポリティカルエコノミーと空間形成、フロンティア空間の政治経済学
藤本 肇彦 教授	「農と食の地域自給圏」構築のための食料経済学研究
星野 泉 教授	少子高齢化率の税財政を国際比較の観点から明らかにする
盛本 圭一 教授	法人税のマクロ経済分析、大災害と資産価格・経済政策
八木 尚志 教授	産業構造変化、所得分配、マクロ経済分析に関する研究
赤津 正彦 准教授	経済と環境との関係を中心とした近代イギリス経済史研究
奥山 誠 准教授	世界恐慌期の経済政策思想
鎌田 健司 准教授	地域人口分析、地域出生力分析、人口移動と結婚・出生行動の分析
倉地 真太郎 准教授	北欧諸国における福祉国家財政の形成と変容
下斗木 秀之 准教授	アメリカ経済史における移民問題
関根 篤史 准教授	マクロ金融の時系列分析
日向 祥子 准教授	企業・組織による課題の発見、対応と経済社会の変化
井上 朋紀 専任講師	一般均衡理論、協力ゲーム理論
杉本 隆司 専任講師	実証主義・産業主義の社会思想、物象化・物神崇拜論
高橋 聡 専任講師	資本主義経済のグローバル化
中島 満大 専任講師	歴史からみた人口と家族の持続と変容

氏名・職名	研究テーマ
飯田 泰之 教授	地域経済論・産業経済論とマクロ経済学の融合
牛山 久仁彦 教授	地方分権改革に伴う自治体行政改革の課題と展望

※2026年度より地域行政学部の募集を停止し、政策学部の募集を開始予定です。(2025年5月現在届出申請中、名称その他計画に変更が生じることがあります。)

氏名・職名	研究テーマ
奥山 雅之 教授	地域産業のグローバル化(グローバルビジネス)、地域政策に関する研究
加藤 久和 教授	公共経済・マクロ経済等の実証分析、人口減少時代の財政社会保障
西村 弥 教授	民営化と「行政の守備範囲」の変動に関する研究、危機管理行政
野澤 千絵 教授	人口減少社会における都市政策・まちづくり
藤永 修一 教授	国家の役割と市場の役割、グローバルイノベーション
森下 正 教授	ベンチャー・中小企業の経営実態、経営者行動の実証的研究
齋藤 雅己 専任講師	グローバル経済の分析と経済政策
柴田 有祐 専任講師	産業政策、貿易と経済成長
宮崎 イキサン 専任講師	国際貿易金融、国際貿易の決済・資金調達と決済リスクの実証分析

氏名・職名	研究テーマ
池田 功 教授	心の病の文化の研究、社会病理研究、石川啄木研究
石山 徳子 教授	政治・人文地理学、地域研究(アメリカ合衆国)
植田 麦 教授	古代日本の神話テキストを中心とした文学的・語学的研究
海野 素史 教授	トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル
春日 井 淳夫 教授	生活習慣病の予防と運動、スポーツ選手の体力に関する研究
後藤 光将 教授	スポーツ史、スポーツ人類学、オリンピック教育
佐原 徹哉 教授	ジェノサイドの比較研究、東欧・中東地域研究、紛争研究
柴崎 文一 教授	応用倫理学および環境思想の研究
嶋田 直哉 教授	日本近代文学、現代演劇批評、国語科教育法
高峰 修 教授	スポーツの社会学、スポーツ・ジェンダー研究
田村 久男 教授	ドイツ語圏文学
富澤 成實 教授	近代日本の文化・文学、志賀直哉の研究
虎岩 直子 教授	イギリス諸島の政治と文化
中村 幸一 教授	比較言語学・台湾文化
羽根 次郎 教授	東アジア近現代史、現代中国論
廣部 泉 教授	アメリカ合衆国の歴史と文化
本間 次彦 教授	前近代中国思想、中華ナショナリズムの起源と中国思想史の誕生
前田 更子 教授	フランス近現代史、比較教育社会史
丸川 哲史 教授	東アジア思想史・文化論(日本・韓国・中国・台湾・沖縄など)
山岸 智子 教授	イラン地域研究、イスラームとグローバル化
飯嶋 曜子 准教授	政治地理学、経済地理学、EU地域政策
稲葉 肇 准教授	科学史、物理学史
内田 兆史 准教授	現代ラテンアメリカ文学、音楽および美術
兼子 歩 准教授	アメリカ社会文化史、ジェンダー研究
飯屋 浩子 准教授	スペイン語圏の文学・演劇史
佐久間 寛 准教授	経済人類学、アフリカ地域研究、負債論、仏語圏アフリカの文化運動研究
ジョージ・ジョニー・E. 准教授	社会言語学、人類言語学、日本手話談話
武田 和久 准教授	ラテンアメリカ史、キリスト教布教史
ネルソン・リンジー・R. 准教授	日本映画、日本文化
ヨーク・ジェームズ 准教授	ゲーム学習、教育学
遠藤 直樹 専任講師	代数学(可換環論)
佐々木 菜緒 専任講師	ケベック文学、フランス語圏文学
武田 純平 専任講師	運動生理学(分子筋生理学)
永江 敦 専任講師	イギリス産業革命と思想・文学の関連性、近代イギリス文学
永川 聡 専任講師	18世紀末のドイツ文学
森本 陽子 専任講師	Mind, Brain, and Education(神経科学、教育心理学、教育学)の知見と演劇的アプローチを応用した、自律的語学学習法、教授法、プレゼンスキル指導法

氏名・職名	研究テーマ
アベシム・ヘム・ティヤン・セラグ、ニコロスC. 専任教授	国際政治、南アジア政治、グローバル・ガバナンス
金子 隆一 専任教授	人口変動(高齢化等)のライフコースの解明
小西 淳文 専任教授	開発経済学、持続可能な開発・環境との調和
杉田 弘毅 専任教授	米国政治外交、地政学、中東研究、メディア研究
津田 太郎 専任講師	現代日本政治史、日米関係史、冷戦期における東アジア
デヴェラローナ・ヴェリア、L. 専任講師	外国語教育、日本語教育、自律学習、教材開発、学習ストラテジー
バスケット、ルアン・K. 専任講師	社会言語学、ゲーム業界の歴史、ゲーム研究
ブルチャー、ミヒャエル・F. 専任講師	日本近代政治思想と「認識」論、政治概念史と翻訳思想

※2026年度より地域行政学部の募集を停止し、政策学部の募集を開始予定です。(2025年5月現在届出申請中、名称その他計画に変更が生じることがあります。)

PICK UP セミナール

相原 耕作 セミナール

異質な他者と出会い、私たちの「当たり前」を見直す

相原 耕作 専任講師

文献を読んで報告して討論することを愚直に繰り返しています。扱う文献は、古代の神話から現代の陰謀論まで、ゼミ生の関心に応じて様々で、特に原典を読むことを重視しています。例えば、吉田松陰、福沢諭吉、渋沢栄一、新渡戸稲造、吉野作造、永田鉄山、平塚らいてう、丸山眞男、明治憲法や教育勅語の英訳など、多様な文献を読んでいます。日本の歴史のなかに現れる多種多様な異質な他者と、原典読解を通じて出会い、私たちの「当たり前」を見直しながら日本についての理解を深めることは、グローバルな活動においても重要な意義を持つと考えています。

相原 耕作 PROFILE

東京都立大学大学院社会科学部政治学専攻博士課程単位取得満期退学。博士(政治学)。専門分野は日本政治思想史。江戸時代の国学者や儒学者の言語研究を中心に、言語研究と政治思想の関係について研究しています。主要担当科目は日本政治思想史・日本政治文化論。多様な「異質な他者との出会い」を学生の皆さんに提供するべく、江戸時代から明治時代の政治思想を中心に講義しています。

山岸 智子 セミナール

新しい世界観を得るための文化論・中東研究

山岸 智子 教授

このゼミでは、カルチュラルスタディーズの視点から、主として中東・イスラーム圏の諸問題を扱います。〈分断〉が取りざたされている現代の世界で、よりニュアンスのある知識を持ち歴史的・文化論的な考察を加えることで、〈危険〉だとして忌避・対立することに終始しない、別の世界観・新たな地平を開くことを目指しています。ゼミ活動としては、トピックを自分たちで設定して調査し、発表し、話し合い、戦争だけではなく中東像をつかうことを目標としています。近年はイスラームと新しい食の規定、湾岸諸国の若者文化、化石燃料依存脱却の試みなどをとりあげています。

山岸 智子 PROFILE

東京大学卒。東京大学大学院より博士(学術)取得。2020年度はオックスフォード大学中東センター、テヘラン大学世界研究科で在外研究。著書『現代イランの社会と政治 つながる人びとと国家の挑戦』

齋藤 雅己 セミナール

現実経済を読み解き、グローバル経済の諸問題を解決する経済政策を考える

齋藤 雅己 専任講師

経済政策は、現実の経済・社会に生じている様々な課題に対して、経済理論に基づいた分析を行って問題解決の方法を考えていく学問です。ゼミでは、専門的な文献に学ぶとともに、IMFやOECDレポートなどの英文資料を読み解き、いま世界で起こっている現実の経済問題を取り上げて議論していきます。また、学部内の政策討論会や学外の政策コンテストにも参加し、学生独自の視点から政策提言を行っています。これらに加え、ゼミ生は、留学生との英語でのディスカッション等を通じてGlobal Communication能力を鍛え、将来、世界で活躍できるGlobal人材となるべく頑張っています。

齋藤 雅己 PROFILE

明治大学政治経済学部経済学科卒業、同大学院政治経済学研究科博士前期課程修了/後期課程単位取得退学。担当科目は、数量経済分析・経済政策・経済政策原理。主な研究テーマは「グローバル経済における経済政策の形成とその原理」「経済成長理論と経済成長政策」。

平口 良司 セミナール

経済格差と経済成長

平口 良司 教授

このゼミでは現代社会について経済格差の観点から勉強します。格差と経済成長の関係を説明する統一的経済成長論といった理論の勉強と、世界各国における様々な格差の状況や再分配政策といった現状分析に関する勉強を両方行うことがゼミの特色として挙げられます。経済面での格差には所得の格差だけでなく、資産の格差など様々な側面があります。ゼミ生には、英語・日本語論文の輪読、あるいはディスカッションといった多面的な勉強を通して、格差社会における経済発展の在り方について自発的に考えられるようになってほしいと願っています。

平口 良司 PROFILE

1977年生まれ。2008年スタンフォード大学大学院博士課程修了。2013年-2017年 千葉大学法政経済学部准教授。2017年-2018年 明治大学政治経済学部准教授。2018年-現在に至る 同 専任教授。研究テーマは、経済主体の異質性と経済成長。



学部教育振興プロジェクト

政治経済学部では、学生が社会に飛び立つうえで必要なスキルを向上させるために、様々なサポートプログラムを用意しています。

政治経済学部は、学費の中に含めて納入された実習料を「学部教育振興費」として位置づけ、多様なプログラムに活用しています。これまでの大学教育では学ぶことができなかったものを各種の

プログラムで補完することにより、学生一人ひとりの「足腰を鍛える」ことが目的です。各プログラムは受講回数に制限がある場合がありますが、受講にあたっては料金不要です。



政治経済学部だけの
学生サポートプログラム

▶学部教育振興プロジェクト
紹介ページ



TOEIC®試験 TOEFL®試験 対象：1～4年次

政治経済学部では年間複数回、TOEIC® IPテストを主催しており、希望者は無料で受験することができます。成績優秀者は学部長表彰の対象となるほか、対面形式の試験で一定の条件を満たすと、英語科目への「単位認定」の申請が可能となります。また、英語圏への留学の際に重視される基準の一つであるTOEFL®の団体試験（ITPテスト）も年2回受験できます。

各種検定試験 対象：1～4年次

ドイツ語検定、フランス語検定、中国語検定、スペイン語検定などの語学検定、またニュース時事能力検定、日経テストなどのその他外部検定試験について、一定の条件に基づき受講料の助成を行っており、制度を利用することで年間複数回、所定の検定試験を無料で受験することができます。また、所定の語学検定に関しては、成績に応じて各外国語科目への「単位認定」の申請が可能となり、該当する外国語科目の授業が受講不要となることもあります。

**リバティアカデミー講座/
明大サポート開講講座 受講助成
学内三研究所 在籍料助成** 対象：1～4年次

「資格取得受験のための実力をつけたい」、「スキルアップを図りたい」などのニーズに応え、本学は、授業以外の多様な講座を用意しています。政治経済学部の学生は、これらの講座のうち学部が指定したものの中から所定の数の講座を無料または割引料金で受講できます。また、本学が設置する法制研究所、経理研究所、行政研究所について、申請に基づき在籍料の一部を助成しています。

リバティアカデミー講座の一例	
コーチング入門	TOEIC® L&R TEST 対策講座

明大サポート公務員講座		
公務員入門コース	地方上級・国家一般職コース	教養科目コース

**学部教育振興プロジェクト講座
キャリア育成講座** 対象：1～4年次

学生の職業選択サポートの一環として、各分野で活躍中の外部講師を招き講座を開講しています。早くから学生のキャリア形成への意識を高めることがねらいです。

■国際社会におけるキャリア入門講座

国連機関、政府援助機関、国際NGO、コンサルタントなどで活躍中の講師を招き、「国際社会で働く」ことをテーマに、職種や能力アップ、キャリアアップの方法などについて紹介します。

講義例
開発コンサルタントへの道
緊急人道支援～国際緊急援助隊の現場から～
SDG3の達成に向けて
国際協力キャリアを考える～NGOの現場から～
開発協力の公的組織と非営利組織
日本と海外で働いて

■起業家養成講座

政治経済学部の卒業生には、起業して成功を収めた方々がたくさんいます。実際に成功を収めている起業家たちに経験談やアドバイスを語っていただきます。

講義例
スモールビジネスで起業する！～創業支援の現場から伝える起業の実態と実践～
老舗企業発ITベンチャー企業の創業と地域産業復興の挑戦
経営コンサルタントから見た起業家・経営者に求められる資質と役割
若手ベンチャー起業家が語る創業までの道と成長戦略

■キャリア育成講座

1・2年生のうちから自身のキャリアについて考える機会を持ち、そのための基礎的な力や知識を身につけることを目的としています。

就職支援イベント 対象：1～3年次

明治大学では就職キャリア支援センターが中心となって、学生の就職支援を積極的に行っていますが、政治経済学部でも独自に、学生の活動を支援するイベントを実施しています。例年、本学部を卒業し、様々な分野で活躍する企業等の担当者を招いたパネルディスカッションや、会社訪問、面接等の対策に幅広く役立つ講座などを開催し、参加した学生たちが積極的に質問する姿が見られます。卒業生の方などから貴重なお話を聞くことができるとともに、学生自身が就職活動に対する見聞を広げ、意識を高める機会となっています。



過年度の様子

**ウォール・ストリート・ジャーナル
(電子版)の購読助成** 対象：1～4年次

国際的な影響力を持つ経済・ビジネス日刊新聞であるウォール・ストリート・ジャーナルについて、所定の手続きを行うことで電子版を1年間無料で購読できる制度を設置しています。ゼミにおける学習や自習用教材として活用されています。

在学生がつくる新入生向け学部ガイド
「政経の歩き方」

政治経済学部の現役学生が編集した新入生のための「政治経済学部ガイドブック」です。「政治経済学部での大学生活について、現役の学部生による生きた情報を分かりやすく、親しみやすく伝えたい！」ということコンセプトで作成しています。

奨学金制度

明治大学では、成績優秀者に給付されるものから、経済的困難を助けるためのものなど、目的に応じて様々な奨学金を利用することができます。奨学金は大きく分けると2つのタイプがあります。返還の必要がない給費型と卒業後に返還の義務が生じる貸費型です。なお、貸費型の奨学金には無利子のものと有利子のものがあります。また、これらの奨学金のほかにも、民間・地方公共団体の取り扱う奨学金や家計急変時に対応した奨学金があります。奨学金については、明治大学ホームページに情報を掲載しています。

明治大学給費奨学金「おゝ明治奨学金」(返還不要)

一般選抜出願前に採用が決定する奨学金。地域性および経済状況を重視し、入学時に授業料年額の2分の1相当額を減免します。入学後も毎年度、同額が給付されます。

募集人員	1,000名
申請期間	10月中旬～11月中旬(予定) 正式な申請期間は、明治大学ホームページでご確認ください。 ※採用決定は、12月下旬予定

給費型(返還不要)		
明治大学 給費奨学金	給付額(年) 募集人数	200,000円または300,000円 1,440名以内
明治大学 学業奨励給費奨学金	給付額(年) 採用人数	授業料年額相当額または授業料年額1/2相当額、授業料年額1/4相当額 学部により異なる
明治大学 校友会奨学金「前へ!」	給付額(年) 募集人数	200,000円 未定(募集要項を確認)
明治大学 連合父母会 一般給付奨学金	給付額(年) 募集人数	250,000円 未定(募集要項を確認)
高等教育の修学支援制度 (給付奨学金)	給付額(月)	第I区分38,300円(自宅通学)、75,800円(自宅外通学) 第II区分25,600円(自宅通学)、50,600円(自宅外通学) 第III区分12,800円(自宅通学)、25,300円(自宅外通学)
高等教育の修学支援制度 (授業料等減免)	減免額(年)	第I区分は次の金額の満額、 第II区分は次の金額の3分の2、 第III区分は次の金額の3分の1の額 入学金:260,000円(新1年生のみ) 授業料:700,000円

インターンシップ制度

政治経済学部では、学生の現場体験を重視し、インターンシップに必要な知識やスキルの習得を目標とする事前講義や、公共機関におけるインターンシップ・ボランティア活動に関する学部独自の制度を設けています。

実地の場を体感し、学びをさらに深める

大学で学ぶ政治、経済、社会の仕組みが、「現場ではどのように機能しているのか」、「理論と現実との違いは何か」、こうしたことを肌で感じてもらうために、政治経済学部では独自の実習プログラムを用意しています。それは、公共部門などで実習する「地域研究インターンシップ」(※)、福祉・環境などの現場でボランティア体験をする「社会実習」です。講義で身につけたことを実践・検証することがねらいであり、就職活動における自分の適性について考える機会ともなります。

※2026年度以降、政策学科の所属学生に対しては、「政策研究インターンシップ」として科目を再編し開講予定です。

地域研究インターンシップ

対象：地域行政学科※3年次

地域行政学科※の学生を対象としたインターンシップです。受入機関は、自治体・公共部門・地域産業などです。事前にビジネスマナー講座を受講し、夏休み期間中に1～2週間の実習を体験します。秋には報告会が開催され、修了者には単位認定がなされます。公務員や議員志望の学生が自らの将来を考える材料

受入機関（2024年度実績）	
東京都	大田区 杉並区 千代田区 中野区 国分寺市 多摩市 西東京市 東京観光財団
埼玉県	所沢市 戸田市
千葉県	議員事務所（船橋市） 松戸市
神奈川県	相模原市
その他	石狩市（北海道） 東川町（北海道） いわき市（福島県） デジタルラボならは（福島県） 美郷町（島根県）

になるだけでなく、地域の中で、どのように貢献し、かかわっているかという一生の課題にヒントを与えてくれるでしょう。

INTERVIEW 地域研究インターンシップ体験談



地域行政学科※3年 荒川 七海
千葉県立 幕張総合高等学校卒業
実習先： 島根県美郷町役場/
北海道東川町役場

実際に体験したことで職場の雰囲気や仕事のやりがいなど これからの進路選択に重要な要素を知ることができた

行政が地域の人々や町づくりにどうかかわっているのかを知りたいと考え、参加しました。実習前には大学主催の社会人基礎講座が実施され、手厚いサポートのもとで安心して参加することができました。インターン先には、親族が役場に勤務していて幼少期から馴染みがある美郷町と、地方での人口減少が問題化する中で人口が増加する成功例を持つ東川町を選択。実習で特に印象深かったのは、住民自ら

が当事者意識を持って町づくりにかかわっている姿です。行政だけの力でなく、住民と連携して町づくりを進めることの重要性を実感しました。行政の仕事は成果が目に見えにくいものの、住民の笑顔を近くで感じられることに魅力ややりがいがあると考えます。この実習を通じて学び、体験できたことを今後の進路選択に役立てていきたいです。

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。（2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じることがあります。）

社会実習

対象：全学科1～4年次

政治経済学部が認定する機関（公共部門、民間部門、NPOなど）における所定のボランティア活動について、学部が定める一定の要件を満たし、認定を受けることで、単位認定がなされます。自主的・主体的に行う活動を通して各々が視野を拡げ、大学卒業後に企業社会のみならず地域社会でも貢献できるスキルを身につけることをねらいとしています。

主な活動先団体

- 環境分野
（NPO法人、NGO、教育委員会 など）
- 福祉・医療・保健分野
（NPO法人、ボランティア団体、福祉施設 など）
- 教育・文化・スポーツ分野
（NPO法人、ボランティア団体、児童館、幼稚園 など）

大学院 政治経済学研究科

学問をさらに究める学びの場



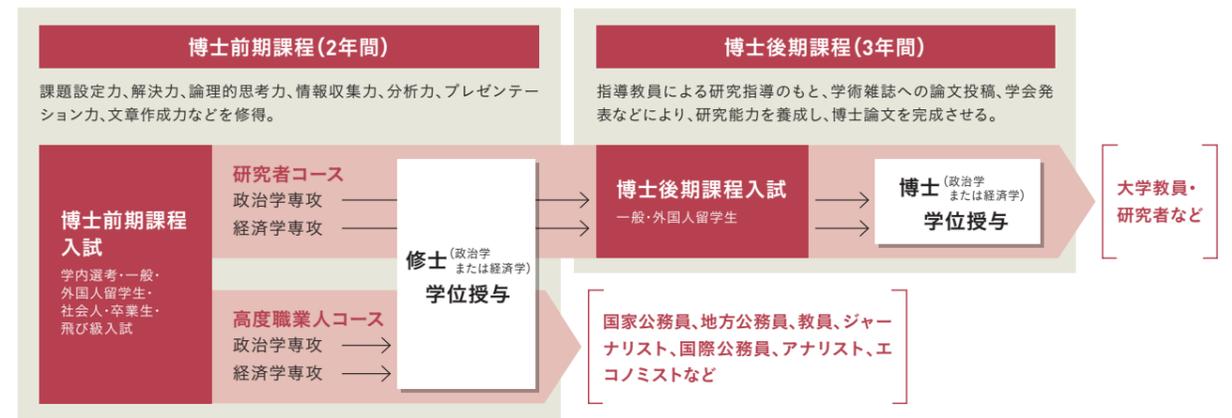
大学院 政治経済学研究科長 鍾 家新 教授

大学は最高学府と言われますが、今や、大学卒業後、もっと学びたい、もっと深く知りたいと考える人が増えています。より専門的な知識を身につけたい、学問を究めたいというニーズに対応するために、大学卒業後の学びの場として「大学院」が設けられています。大学院には大学の学部と同様、学問領域ごとに「研究科」があります。政治経済学部の学びを土台として、政治や経済の研究を深め、学識を高めることを目的として設置されているのが、「政治経済学研究科」です。研究科には政治学と経済学の2専攻があり、それぞれの学問領域の理論・歴史・政策を学ぶことができます。政治学専攻に社会学関係の科目が多数設置さ

れていることは、本研究科の特色でもあります。また、政治学および経済学のいくつかの科目では英語による授業も行われています。

大学院の課程は、「博士前期課程」と「博士後期課程」に分かれています。学部卒業後に入学する前期課程の標準修業年限は2年で、この課程を修了すると「修士」の学位が授与されます。前期課程を修了したのちに、さらに高度な研究を行いたいと望む人たちが進学するのが後期課程で、その標準修業年限は3年です。博士後期課程で研究成果をまとめた博士学位請求論文を提出し、審査に合格すると「博士」の学位が授与されます。

■大学院政治経済学研究科の進路モデル



STUDENT VOICE

政治経済学研究科 政治学専攻 博士前期課程2年 秋山 大河
北海道 私立函館ラ・サール 高等学校卒業



研究だけでなく多様な交流が可能 キャリアアップにつながる

大学3年次、ゼミ内のディベート大会に向けて勉強を進めていく中で、日本が抱える社会問題や経済状況についてさらに多くのことを学びたいと感じ、大学院への進学を決めました。大学院では他大学だけでなく、留学生や社会人など多様な知識やバックグラウンドを持つ人との交流が可能。自分の研究やその進捗について共有する機会も設けられているので、幅広い

視点からアドバイスを受けることができ、自分の研究に大きく役立っています。政治経済学部では1年次から政治や経済だけでなく社会学、哲学、文化論など色々な授業を受けることができました。大学院でも多様な観点から学ぶことを心がけることができているのは、ひとつの視点や学問にこだわらず学んだ学部時代の経験があったからだと感じています。

大学院進学をサポートする 奨学金制度

日本学生支援機構による奨学金制度だけではなく、成績優秀者に対しては、明治大学独自の制度として、研究奨励奨学金と、学内選考入試で研究者コースに進学した学生を対象とする内部進学者奨励奨学金があります。両奨学金は授業料半額分が給付され、共に採用された場合は、授業料全額を奨学金で賄うことが可能となります。

キャリア形成サポート

政治経済学部ではマスコミをはじめ多様なメディア職種を志望する学生のキャリア形成をサポートする機関を設けています。また、大学が設置する公務員志望者をサポートする機関についても大きくバックアップしています。これらの機関に所属することにより、きめ細かなカリキュラムで実践的な指導を受けられます。

メディア表現ラボ —多様なメディア職種を目指す学生を指導— (旧基礎マスコミ研究室)

政治経済学部では、ジャーナリストを目指す学生のキャリア形成サポート機関として設置してきた「基礎マスコミ研究室」について、2023年度からカリキュラムを改変し、併せて名称を「メディア表現ラボ」に変更しました。従来のマスコミ業界志望者だけでなく、より幅広いメディア業界やメディア関連職種を目指す学生を対象として指導を行っています。様々なメディアを用いた表現技法の基礎をトレーニングするカリキュラムを用意しています。熱意ある学生なら、どの学部からでも入室を歓迎します。また、基礎マスコミ研究室に引き継ぎ、学生が主体となって行う各種活動を通して、室員相互の自己研鑽を行う場ともなっています。



メディア表現ラボ室長
植田 麦 教授

(2024年度/1～4年生)		
在籍者数	政治経済学部	63
	その他学部・大学院	170
計		233

募集人員	1年生▶約50名
入室試験	有(詳細は別途案内)
室費	大学が提供する各種講義の講義料は無料です。学生が行う班活動等について、個人負担がかかる場合があります。

■カリキュラム

●和泉キャンパス

基礎的な文章表現、映像表現、口頭プレゼン表現などを総合的に学ぶカリキュラムを展開します。

●駿河台キャンパス

特にマスコミを志望する学生を対象として「マスコミ就活講座」を開講し、学生への個別ガイダンスも行います。また、学外ゲストを招いた講演会など、全学年が参加できる催しも適宜行う予定です。

主なメディア業界等への就職実績 (一部抜粋)

※就職実績は「基礎マスコミ研究室」在籍者のデータを含み、一部を掲載しています。

日本放送協会、東海テレビ、共同通信社、毎日新聞社、下野新聞社、報知新聞社、サイバーエージェント、デジタルアドバイジングコンソーシアム など

INTERVIEW 入室者体験談 (旧基礎マスコミ研究室在籍)



政治経済学部
地域行政学科*4年
藤井 明
長崎県立長崎北高等学校卒業
就職内定先：
株式会社TBSテレビ

プロの添削で、相手に伝わる文章力を鍛える。
本気で夢を追い、同志と就職活動を乗り越えられた。

メディア表現ラボの活動で一番活に役立ったのは、作文の基礎を学べたことです。作文を何度も練習し、プロの添削を受けながら「表現」に慣れることは、ESや面接で必ず生きてきます。また、作文という一種の創作活動を行うことで、単純に文章力が上がるだけではなく、「いかに相手に自分の思いを面白く届けるか」という意識が芽生え、少し大袈裟な言い方も

しませんが、いちクリエイターとしても成長できたように思います。就活中、精神的に追い詰められた時期もありましたが、同志と励まし合い、「マスコミ業界に行きたい!」という自分の夢の原点に立ち返ることで苦しい就活に立ち向かうことができました。入社後は、世に溢れる人々のリアルな感情からバラエティ番組を作り、沢山の人が笑顔になりたいです。

資格取得 在学中に所定の科目を履修することで、以下の資格の免許状および基礎資格を取得できます。

教職課程

中学校または高等学校の教員を志望する者のために、本学には教職課程が設置されています。政治経済学部の教職課程では、右記の教員免許状を取得することができます。

[本学部で教員免許状を取得可能な教科]

学科	中学校教諭	高等学校教諭
政治学科	社会	地理歴史 公民
経済学科		
政策学科*		

*免許状はいずれも一種免許状

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。(2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じる場合があります。)

学芸員養成課程

本学の学芸員養成課程では、「学芸員」の資格を取得することができます。学芸員とは、歴史、芸術、自然科学などの博物館で働く専門職で、その主な仕事は、専門分野の調査・研究、資料の収集・整理・保管・保存・展示、利用者への説明やアドバイス、地域住民に対する社会教育・生涯教育、博物館の運営など、博物館業務の全般をこなします。

その他の研究室

政治経済学部がバックアップする「研究室」のほかに本学には次の研究室があります。

法制研究所

将来、裁判官・検察官・弁護士を志望する者に対して、専門および基礎的学科の学習を指導し、法科大学院合格、そして司法試験の合格へと導きます。

経理研究所

公認会計士試験や日本商工会議所主催簿記検定試験の受験指導を行います。

行政研究所

1957(昭和32)年、弓家七郎教授(当時政治経済学部長)によって明治大学行政研究所は設立されました。それから65年以上が経った今、明治大学国家試験指導センターのもとで、公務員試験指導機関として活動しています。目標は「一人でも多く国家公務員総合職試験の最終合格者を輩出すること」です。毎年度4月に1年生と2年生を対象とした入室試験を行い、合格した学生に対し国家公務員総合職試験合格のために、受験指導のプロと卒業生・上級生による指導が行われます。1年生から指導を行いますが、3年生になると専門科目を中心とした指導が実施されます。



行政研究所所長
西川 伸一 教授

(2024年度/1～4年生)		
在籍者数	政治経済学部	106
	その他学部	164
計		270

募集人員	1年生▶約100名 / 2年生▶約80名 3年生▶国家公務員総合職試験志望者に限り若干名
入室試験	筆記試験、面接
室費	1年生・2年生・4年生 66,000円 / 3年生 132,000円(年間) ※別途入室登録料5,500円がかかります。

■カリキュラム

●和泉キャンパス

政治学、憲法、民法、行政法、経済学、数的処理
※上記のほかに、卒業生や外部講師を招いて、講演会や懇談会を適宜開催します。

●駿河台キャンパス

法律系科目、経済系科目、政策系科目、数的処理、教養知能
※上記のほかに、面接指導および個別試験に合わせた直前対策を行います。3年生には夏期休暇中も週5日程度の講義が実施されます。

行政研究所▶公務員試験合格実績

2023年度(2024年度採用) 合格実績

【国家公務員総合職】最終合格者：14名(法律区分1名、経済区分3名、政治国際区分10名) 内定先：財務省、会計検査院

【国家公務員一般職】防衛省、厚生労働省、農林水産省 など

【国家公務員】国税専門官、裁判所事務官 など

【地方公務員】東京都、特別区、神奈川県、埼玉県 など

INTERVIEW 入所者体験談



経済学科4年
田川 智裕
埼玉県
私立開智未来高等学校卒業
就職内定先：
財務省財務局

先生や同期の仲間と切磋琢磨し、励まし合いながら
公務員試験への道のりに挑みました

社会の役に立つ仕事がしたいと考え、公務員を目指すように。学内で通いやすく、金銭的な負担が少ないことや、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨できる環境に魅力を感じ、参加しました。研究所では、多くの仲間やOBOG、先生方との交流を通じてコミュニケーション能力を磨く

ことができた実感しています。選考の流れで重要である官庁訪問期間中には、皆で情報共有したり励まし合ったりして乗り越え、最終的に内々定を獲得することができました。今後は財務省財務局で、これまで培ったコミュニケーション能力を活かし、地域に貢献していきたいです。

社会教育主事課程

本学の社会教育主事課程では、「社会教育主事補」の資格を取得することができます(社会教育主事補になった後、1年以上、この職にあった者が社会教育主事になることができます)。社会教育主事とは、地域住民の多様な学習・文化活動を側面から援助することを目的とした社会教育行政の職員として、主として都道府県と市区町村の教育委員会に配属されている教育の専門職のことで。

司書課程・司書教諭課程

所定の科目を履修することで、「司書」「司書教諭」の資格を取得することができます。司書とは主として都道府県立や市区町村立の公共図書館で、資料の収集・分類・整理・貸出や返却業務、図書館資料に関するレファレンスサービスなどを行う専門職のことで。司書教諭とは、図書館資料の収集・提供・管理、生徒児童の読書指導や自発的な学習のサポートを行う学校図書館の専門的職務をつかさどる教諭のことで。

[政治経済学部の学生が目指す資格・採用試験]

国家公務員採用総合職・一般職試験	防衛省専門職員採用試験	税理士
労働基準監督官採用試験	衆議院事務局職員採用試験(総合職・一般職)	弁理士
国税専門官採用試験	参議院事務局職員採用試験(総合職)	中小企業診断士
外務省専門職員採用試験	公認会計士	社会保険労務士

各分野で活躍している卒業生たち

※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。
(2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じることがあります。)

メーカー

各国の政治、経済、行政の変化を理解しながら将来を予測



日産自動車株式会社 勤務 埼玉県立春日部高等学校卒業
経済学科2020年卒業
原山 直人さん 2020年4月 日産自動車株式会社入社。商品企画本部所属

在学中、3度の長期留学を経験。多様な人の考えに触れ、広い世界を見知したことで、自分の人生観や価値観が大きく変化しました。国際的な環境下でのコミュニケーション力や、困難を乗り越える力を身につけられたことは、留学をして良かったと感じる部分です。

私の所属する商品企画部は、各部門と連携し、新しいクルマづくりをけん引する役割を担っています。各国の政治、経済、行政の変化を理解しながら将来を予測し、さらにそれを論理的に他部署へと伝えていく力が必要。ゼミや学部の授業を通じて学んだ政治、経済の知識はこれらの仕事を実践するうえで役立っています。また、商品企画部は国際化の進んだ部署であり、様々な国籍の、多様なバックグラウンドを持つメンバーと仕事をしています。会議も英語で行

われることが多く、英語を使った資料作成・プレゼンの機会も多々ありますが、留学や大学のACEの授業で養ったコミュニケーション力が活かされていることを日々実感しています。

総合商社

ビジネスの世界でも学びは続く。小さな興味・関心を大切に



住友商事株式会社 勤務 愛知県立一宮西高等学校卒業
政治学科2021年卒業
藤森 友寛さん 2021年4月 住友商事株式会社入社。リスクマネジメント総括部所属

商社ビジネスの基本である商取引のリスクを最小限に抑えるため、財務諸表の分析をもとに取引先の分析を行ったり、契約書や取引スキームの確認を通して事前にリスクを洗い出す仕事をしています。大学在籍時は、1年次で参加したインドネシア留学をきっかけに東南アジアについて学びたいと思い、3年次には「内閣府東南アジア青年の船事業」に参加するなど、興味をとことん突き詰めました。所属のゼミでは、教授やゼミ生とともに東南アジア各国の歴史、文化、政治体制などについて深く掘り下げ、濃密な議論を繰り返して、英語力を向上させることができた他、多様なバックグラウンドを持つ人々を理解する土台になりました。また、学生時代、小さな興味を大切にするには意識しており、上述したゼミや必修科目以外にも様々な授業を履修していました。卒業した今、改めて大学生活を振り返ると、当時の小さな興味・関心が今の自分につながっている気がします。

将来の選択肢・可能性を拡げるべく、政治経済学部での4年間を全力で駆け抜けられるよう頑張ってください！

鉄道

関心事に取り組める環境。積極的に行動を！



京王電鉄株式会社 勤務 鹿児島県立鶴丸高等学校卒業
政治学科2019年卒業
古木 富久美さん 2019年4月、京王電鉄株式会社入社。経営統括本部経営企画部所属

当社グループ全体の経営計画の策定や中長期的な事業の方向性の検討などを行っています。多くの人とコミュニケーションを取りながら、会社の将来を左右するような経営課題に取り組むことにやりがいを感じています。在学中は、英語学習や国際交流に力を入れていました。様々なプログラムが用意されているACEは、自分が伸ばしたい部分にフォーカスできる点や同じ志を持ったクラスメイトと学びを深められる点がとても面白く、毎期履修していました。また、2年次には学部の制度を利用してカリフォルニア大学アーバイン校へ留学し、帰国後も、大学内の留学や国際交流を支援・促進する活動を行いました。これらの経験において、目の前の課題に対して「自分はどう思うのか」ということを考える場面が多く、通説や前例を参考にしな

がらも、自分の意見を持つことを習慣づけてきました。今の仕事にも活かしている大きな学びの一つです。本学には様々な機会や選択肢があり、自分の興味関心のあることにどんどん取り組める環境があるので、ぜひ積極的に行動していただきたいと思います。

不動産

大学時代の経験は人生を豊かにする財産



独立行政法人都市再生機構 勤務 神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒業
地域行政学科[※]2021年卒業
島田 優一さん 2021年4月、独立行政法人都市再生機構に入社。東北震災復興支援本部福島復興支援部地域再生課所属

福島県大熊町の復興まちづくり支援を担当。大熊町は東日本大震災による原子力災害によって町内人口が一時「ゼロ」になり、町民の帰還促進や地域コミュニティづくり、地域の担い手創出が必要でした。現在私は地域施設の運営スタッフとして、地域の方々とコミュニケーションを交わしながらのまちづくりに務め、日々やりがいを感じています。私が所属した廣松ゼミは、グローバル化の進む現代の都市構造というマクロな視点、具体的な地域研究というミクロな視点の両面から都市を研究。都市構造の潮流や課題を学び、まちづくりに関心を持つ契機になりました。また、地域インターンシップに参加して得た、地域の魅力と課題を体感しながら地域活性化について考える実践的な経験は、社会に出てまちづくりに携わりたいと考えてい

た私にとって有意義なものでした。そして、在学中に様々な活動に参加したことで、学内外の人と交流する機会が生まれ、多くの仲間を持ちました。単に社会に出るための4年ではなく、自らの可能性を広げ、人生を豊かにする経験、財産を大学生活で得られたことをとても感謝しています。

航空

仲間と協力し合った経験を、安全な運航業務に活かす



日本航空株式会社 勤務 東京都立国際高等学校卒業
地域行政学科[※]2024年卒業
志内 高虎さん 2024年4月日本航空株式会社に入社。JALスカイエアポート沖縄株式会社に出身

運航乗務員訓練生として採用され、現在はJALスカイエアポート沖縄株式会社に出身、那覇空港でグランドスタッフとして勤務しています。業務内容はお客さまのチェックイン業務や荷物のお預かり、搭乗のお手伝いなどです。飛行機は多くの人が関わり協力し合うことで初めて安全に運航することができるため、その一端を担っていることにやりがいを感じています。地域行政学科[※]では体験型の授業が豊富で、さまざまな分野で働く方々のお話を聞いたり、実際に現場へ足を運ぶ機会が多くあり、視野を広げることができました。また、ゼミや学生委員会同期の仲間や先輩・後輩と協力するためにコミュニケーションを取る中で、伝えたいことを的確に相手に伝えるスキルが培われました。こうした学びは、多くの職員と協力して安全に飛行機を運航する現

在の業務に活かされていると感じています。地上研修中の現在は、多くのお客さまと接する中でニーズや想いを理解し、お客さまの視点に立ったフライトができるパイロットを目指したいと考えています。

通信

先輩の積極的な姿勢に刺激を受けて



株式会社NTTデータ 勤務 東京都私立三輪田学園高等学校卒業
地域行政学科[※]2021年卒業
鈴木 里奈さん 2021年4月、株式会社NTTデータに入社。第三公共事業本部 デジタルソサエティ事業部所属

行政職員の方や国民の皆さんが使用されるシステムの開発をしています。場合によってはニュースにもなりうる仕事。社会的影響力の大きさや貢献度の高さを感じます。大学時代に私が所属していた木寺ゼミは、地域創生を目的とした政策を立案してプレゼンテーションを行ったり、地域のイベントを手掛けたりと、実践が中心。実際に行政機関を訪問し、ヒアリングを行った経験が、現在の地域創生に携わる職場に就ききっかけとなりました。グループワークの経験で得た「意見を肯定する姿勢」や「自身が貢献できることを考える力」が身につく、チーム内での雰囲気づくり、まわりを否定しない姿勢や自身がどのようにチームに貢献できるかを考える力は職場でも役立っています。それぞれのコミュニティで意欲ある先輩・同期・後輩がい

るところも魅力で、特に専門演習やゼミ活動でのまわりのメンバーの、積極的に取り組む姿勢には刺激を受けることが多かったと感じます。幅広い経験の中で自身が将来何をしたいのか、具体的に考えられる機会をぜひ活かしてください。

アスリート

野球人として、一人の人間として成長できた4年間



中日ドラゴンズ 所属
柳 裕也さん

神奈川県私立横浜高等学校卒業
経済学科2017年卒業
2017年4月、ドラフト1位で中日ドラゴンズに入団。2021年にベストナイン、ゴールデングラブ賞。その他、数々の賞を受賞

大学進学を考えた際に、レベルの高い東京六大学野球でプレーすること、そして伝統ある明治大学に惹かれ、入学を決めました。明治大学体育会硬式野球部は、野球だけでなく、日々の生活、学業にもしっかりと取り組むという方針があるため、朝の満員電車に乗って、講義を受けていました。その中で一番印象に残っているのが、海野素央教授の「異文化理解とコミュニケーション」「異文化摩擦とコミュニケーション」です。アメリカの大統領選で実際に行われている選挙活動について学ぶことができたのは、貴重な経験でした。講義のフォローもいただきましたが、六大学野球のリーグ戦のたびに応援してもらえたのは、非常に嬉しかったです。ゼミナール(専門演習)に入室できなかったことは、心残りでもあります。

高校卒業後、プロ野球入りするのではなく、大学に入学したことで、一般学生だけでなく、様々な分野、多くの年代の方とも交流することができました。プロ野球界にも多くの明治大学卒業生がおり、他球団との試合前には必ず先輩には挨拶に行き、後輩も挨拶に来てくれる良い関係性が築けています。今後も、良い成績を残し、一年でも長く第一線で活躍できるよう努力し続けることで、明治大学に貢献していきたいと思っています。

損害保険

常に問題意識を持ち、考え、行動する



東京海上日動火災保険株式会社 勤務
伊藤 美紅さん
東京都私立明治大学付属明治高等学校卒業
経済学科2020年卒業
2020年4月、東京海上日動火災保険株式会社入社。火災・企業新種保険業務部 企業新種保険グループ所属

企業向けの損害保険の商品開発や、オーガーマイドの条件で引受業務を行う部署で、企業新種保険のアンダーライティングを担当してしています。アンダーライティングとは、保険の対象となるリスクを見極め、引受可能な補償条件や保険料率を決定するまでの一連の業務を指します。お客様の「いざ」をお守りする保険商品の提供を通じて、社会課題の解決や、個人や企業の挑戦を支える一助となる業務にやりがいを感じています。在学中は、財政政策について学び、島しょ部における医療体制や財政について研究していました。座学のみならず実際に現地へ足を運び、直接お話を伺いに行ったり、学外活動に力を入れてみたり、興味関心を持ったことに取り組めるからこそ、自ら考え、行動する習慣が身につきました。正解が存在しない業務に従事するなかで、常に問題意識を持ち、考え、行動することが求められるいま、大学生活で培った習慣や経験が役に立っていると感じます。商品開発の専門性を高め、グローバルな舞台で通用するアンダーライターとなるのが現在の私の目標です。

銀行

金融の現場で学びを活かし、未来を切り拓く



三菱UFJ信託銀行株式会社 勤務
柴田 広大さん
茨城県立土浦第一高等学校
経済学科2022年3月卒業
2022年4月、三菱UFJ信託銀行株式会社入社。名古屋支店所属

名古屋支店で主に来店されたお客さまを担当するテラー(窓口)業務を行っています。NISAなどの資産運用や相続、不動産に関する相談を受け、お客さま一人ひとりに合ったソリューションをご提案します。インフレや高齢化の進展に伴い、お客さまの悩みは多様化しています。その分、三菱UFJ信託銀行が提供できる選択肢の幅広さを活かし、解決策を見出す瞬間にやりがいを感じています。

大学時代、特に印象に残っているのは小早川ゼミでの活動です。「貨幣や金融・決済サービスのあり方」をテーマに研究を行いました。こうした学びが、現在の金融への興味を育んだと感じています。ゼミで培った「現状と原因を分析する力」は、お客さまの属性や悩みを丁寧に分析し、潜在的な課題を見極めた上で最適な提案を行う今の仕事にも役立っています。

経済学科での学びは、多様な視点を養い、自分の可能性を広げる機会に満ちています。一生の財産となるような経験が待っているこの学科で、ぜひとも学びを深めてください！

政治経済学部生の1日

ひとり暮らしの場合



初めてのひとり暮らし。
健康にも注意しながら
充実した大学生活を

政治学科1年
青島 広晟
静岡県
浜松市立高等学校卒業

政治学を学べる大学が地元がなく、中学時代から首都圏でひとり暮らしをすることを考えていました。生活費の足しにするためアルバイトをしたり、洗濯や掃除などの家事をこなしたりと、思ったよりもやらなければいけないことが多く、初めてのひとり暮らしに戸惑うこともあります。自由に使える時間やお金も増え、毎日充実しています。大学1年の現在は、授業数が多く毎日大学に通っています。3、4限で授業が終わる曜日は大学から直接アルバイト先に向かいます。休日は、趣味の楽器演奏をしたり、友達と会ったりして自由な時間を満喫しています。ひとり暮らしをする中で、意識するようになったのは金銭面と栄養バランス。自分の好きなことにお金を使えるよう、高校生の時よりも気をつけるようになりました。また、食事は栄養バランスを考慮し、できるだけ自炊をするよう心がけています。健康にも気をつけつつ、楽しくキャンパスライフを過ごしたいと考えています。

ある日のスケジュール

- 7:40 起床**
コーヒーを飲んで目を覚まします。
- 8:30 通学**
時間を逆算して支度を済ませ、最寄り駅へ向かいます。
- 9:00 1限**
明大前駅に到着。1限の教室に向かいます。
- 12:30 昼食**
前の授業で一緒だった友達と食堂でランチ。カレーやパンをよく選びます。
- 13:30 3限**
体育の場合は早めに移動して授業の準備をしています。
- 17:00 移動**
授業を終え、アルバイト先へ移動。テスト前の時期は、図書館で勉強をしています。
- 18:00 アルバイト**
おもにレジ打ちを担当しています。
- 23:30 帰宅**
帰宅して、ゴミ出し、入浴を済ませます。夜食をとることも。
- 25:00 就寝**
時間に余裕があるときは、地元の友達と電話をすることもあります。



1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り	130,000円
アルバイト	79,000円
ポイ活	1,000円
合計	210,000円
支出	
家賃	75,000円
食費	20,000円
光熱費	8,000円
通信費	2,000円
交際費(交通費込)	35,000円
日用品	25,000円
その他	20,000円
貯金	25,000円
合計	210,000円

自宅から通学の場合



家族のサポートが、
充実した大学生活を
支えてくれています

政治学科1年
松本 由奈
埼玉県立
不動岡高等学校卒業

私が自宅から大学に通うメリットとして感じるのは、家族と一緒に過ごせる安心感です。家に帰ると家族がいて、何気ない会話やちょっとした相談ができることが心の支えになっています。また、家事を家族に手伝ってもらえるおかげで、課題やアルバイトで遅くなった日も、帰宅後すぐに食事を取って休むことができ、とても助かっています。一方で、片道2時間の通学時間は大変な部分もありますが、外国語や小テストの勉強時間として有効に活用しています。一限目の授業が多いため、早寝を心がけて生活リズムを整えるようにしています。授業後は学校で課題を済ませたり、友達と話したりしながら過ごした後、アルバイトやサークル活動に取り組んでいます。自宅から大学へ通う安心感のもと、充実した大学生活を送ることができていると感じています。

ある日のスケジュール

- 6:00 起床**
寝坊しないように目覚ましを2つ使っています。
- 7:00 通学**
隙間時間に中国語の小テストの勉強をします。
- 9:00 授業**
道が混むので、少し早めに行くことを心がけています。
- 12:30 昼食**
3限がある日はお弁当を持参しています。2限終わりの日は友達とご飯を食べに行くことも。
- 14:00 課題に取り組む**
バイトの時間まで、授業の課題を進めたり、友達と会話したりします。
- 16:00 アルバイト**
飲食店で働いています。接客を行うため、笑顔を大切にしています。
- 22:30 帰宅**
帰宅後は夕食を取ります。ドラマを観ることも。
- 23:30 翌日の支度**
持ち物確認や、次の日の服装を決め、残っている課題にも取り組みます。
- 25:00 就寝**
寝る支度を済ませ、目覚ましをセットし就寝。



1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り	0円
アルバイト	90,000円
合計	90,000円
支出	
家賃	0円
食費	10,000円
光熱費	0円
通信費	0円
交際費(交通費込み)	30,000円
貯金	20,000円
美容	20,000円
衣類	10,000円
合計	90,000円

入試情報

一般選抜(学部別・全学部統一・大学入学共通テスト利用入試)は、すべてWeb出願です。

パソコン・スマートフォン・タブレットから出願できます。一般選抜要項は、明治大学ホームページからダウンロードできます(11月上旬公開予定)ので、出願前に必ずご確認ください。 ※総合型選抜、学校推薦型選抜、その他の入学試験では、Web出願を行いません(外国人留学生入学試験を除く)。

学部別入学試験

学科	募集人員	出願期間 (消印有効)	入学試験日	合格発表日	手続締切日 (消印有効)
政治学科	105名	1月6日(火) ～ 1月22日(木)	2月11日(水)	2月18日(水)	3月4日(水)
経済学科	270名 ^{※2}				
政策学科 ^{※1}	80名 ^{※2}				

※内容については一般選抜要項で必ず確認してください。

試験科目		
10:00～11:00	12:00～13:00	14:20～15:20
外国語(配点150点) 『英語』(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、『ドイツ語』、『フランス語』から1科目選択	国語(配点100点) 『国語』(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	地理歴史、公民、数学(配点100点) 『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』、『地理総合、地理探究』、『公共、政治・経済』、『数学Ⅰ～Ⅱ、数学A』(図形の性質、場合の数と確率、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)から1科目選択
合計(3科目)350点		

全学部統一入学試験

学科	募集人員	出願期間 (消印有効)	入学試験日	合格発表日	手続締切日 (消印有効)
政治学科	20名	1月6日(火) ～ 1月16日(金)	2月5日(木)	2月14日(土)	3月4日(水)
経済学科	45名 ^{※2}				
政策学科 ^{※1}	20名 ^{※2}				

※内容については一般選抜要項で必ず確認してください。 ※試験会場：東京(駿河台・和泉・中野キャンパス)、神奈川(生田キャンパス)、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡

試験科目			
9:30～10:30	11:30～12:30	13:50～14:50	15:50～16:50
外国語(配点150点) 『英語』(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、『ドイツ語』、『フランス語』から1科目選択※配点100点を150点に換算する。	国語、数学(配点100点) 『国語』(現代の国語、言語文化)※漢文を除く。『数学(数学Ⅲ)』(数学Ⅰ～Ⅲ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」)から1科目選択	地理歴史、公民、理科(配点100点) 『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』、『地理総合、地理探究』、『公共、政治・経済』、『物理』(物理基礎、物理)、『化学』(化学基礎、化学)、『生物』(生物基礎、生物)から1科目選択	数学(配点100点) 『数学』(数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)
●上記の4教科8科目のうちから1科目を選択し受験する。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用する。			
合計(3科目)350点			

大学入学共通テスト利用入学試験

前期日程	方式	学科	募集人員	出願期間 (消印有効)	入学試験日 (大学入学共通テスト)	合格発表日	手続締切日 (消印有効)
	3科目方式	政治学科 経済学科	8名 15名 ^{※2}	1月6日(火) ～ 1月16日(金)	1月17日(土)、 1月18日(日)	2月14日(土)	3月4日(水)
7科目方式	政治学科 経済学科 政策学科 ^{※1}	15名 45名 ^{※2} 12名 ^{※2}	3月11日(水)				

利用する教科・科目(3科目方式)		
国語	『国語』	200点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』から1科目 大学入学共通テストの配点200点を300点に換算する。『英語』はリーディング100点、リスニング100点の合計200点を300点に換算する。	300点
●下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 『地理歴史』『公民』および『理科』は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	200点
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
合計(3科目)		700点

利用する教科・科目(7科目方式)		
国語	『国語』	200点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』から1科目 『英語』はリーディング100点、リスニング100点とする。	200点
数学	『数学Ⅰ、数学A』	100点
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100点
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目 2科目を受験した場合には、第1解答科目の成績を合否判定利用の対象とする。第2解答科目の成績は合否判定に利用しない。	100点
●下記の科目のうちから2科目を選択。同一教科内について、2科目の利用も可。高得点の科目の成績を合否判定に利用する。 『地理歴史』、『公民』は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	200点 (100点×2)
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	
情報	『情報Ⅰ』	
合計(7科目)		900点

※1 2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始予定です。(2025年5月現在届出手続中。名称その他計画に変更が生じることがあります)
※2 2026年度から入学定員を変更予定です。(2025年5月現在届出手続中。計画に変更が生じることがあります。)

政治経済学部の特別入学試験

一般選抜のほかに次の「特別入試」を実施しています。

- ①グローバル型特別入学試験
- ②指定校推薦入学試験
- ③外国人留学生入学試験
- ④スポーツ特別入学試験
- ⑤付属高校からの推薦入学試験

グローバル型特別入学試験

【グローバル型特別入学試験とは】

政治経済学部では、国際社会の様々な分野で先導的な役割を果たしうる人材を育成するため、広く国内外の受験生を対象としたグローバル型特別入学試験を実施します。

本学部はこれまでに、夏休みや春休みを利用した短期留学プログラムや半年・一年間の協定校留学、さらにはダブルディグリープログラム(明治大学と海外の大学で、2つの学士号を取得)など、学生のそれまでの経験と将来の希望に基づいた多様なニーズに対応すべく、様々な留学プログラムを展開してきました。これに加えて2022年度からは、国内にあって高度な実践的語学力を強化し、教養や国際的感覚などをさらに磨いた上で専門知識をも身につけた高度なグローバル人材を養成するためのグローバルキャリア形成(GCD)プログラムを設置し、将来グローバル社会で活躍することを目指す学生の学びと経験を強力に後押しすることとしました。

このグローバル型特別入学試験は、そうしたプログラムを通して国際社会のリーダーとして活躍しうる人材を育成するために、すでに高度な語学力と高い意識、柔軟な思考力を有する学生を広く募集するために実施するものです。

【グローバル型特別入学試験日程】

- 出願期間**
2025年9月1日(月)～9月3日(水)
- 試験実施日**
2025年10月4日(土)
- 合格発表日**
2025年11月4日(火)

特別入試の詳細は、政治経済学部事務室へお問い合わせください。

学部別入学試験 合格体験記



経済学科2年
簗 さとみ
北海道私立藤女子高等学校卒業

受験期もしっかりと睡眠をとり、すきま時間を活用して効率良く勉強

中学生の頃からニュースを見たり、公民の勉強をしたりする中で経済学に興味を持ち、大学で学びたいと思うように。同時に英語力を伸ばしたいという気持ちもあり、英語教育が充実している明治大学政治経済学部を受験しました。私が受験した学部別入学試験は、基本的な問題が多く対策がしやすい一方で、ケアレスミスに注意しながら問題を解く必要がありました。受験期にはあまり夜更かしをせず、12時までには就寝。授業の休み時間や電車に乗っているときに英単語を覚えるなど、すきま時間を活用して効率よく勉強を進めました。現在は、経済学はもちろん、TOEIC®などの英語の学びにも力を入れており、学びたいことを思いきり学べる環境だと感じています。

全学部統一入学試験 合格体験記



政治学科1年
伊集院 隆史
岡山県立岡山一宮高等学校卒業

本番を想定したシミュレーションを重ね、短期間の対策で試験に臨む

私が受験したマーク式の全学部統一試験は、短い期間で対策しやすく、一回の受験で複数の学部を併願することが可能。受験期は国立試験対策に追われ、共通テスト終了後から試験当日までの約3週間10年分の過去問を解いていました。全学部統一試験は時間が勝負。実践形式の問題で試験本番のシミュレーションを何度も重ね、最適な時間配分を研究していました。また、英語の配点が高く、単語や文法の基礎的な問題を落とさずに最後まで解くことで合格へのチャンスが広がります。政治経済学部は、基礎課程で幅広い学問領域に触れられることや、憧れの政治学者の先生がおり、とても魅力的な学部です。他にもACEやGCDなどの実践的な英語教育が受けられるなど、様々な知識・スキルを身につけることができると考え、入学を決意しました。

グローバル型特別入学試験 合格体験記



経済学科1年
松永 毅
神奈川県立横浜栄高等学校卒業

言語能力や多角的視点が活かせる入試方式で自分の強みを存分に発揮

中国語が母語の環境で、小学校で英語、中学校で日本語を学んできた私にとって、グローバル型特別入試は、自分の強みである言語能力や多角的な視点を小論文や面接で活かせると考えたため、受験を決めました。受験勉強では、英語の新聞や文章を積極的に読んだり、ChatGPTを活用して英語のライティングを練習したり、時事ニュースや社会問題について原因から結果までの流れを分析し、論理的思考力を鍛えました。私が政治経済学部を選ぶきっかけになった学部独自の英語による「ACE」の授業やGCDプログラムなど、専門科目を学びながら英語力も向上できる恵まれた環境のもと、これからも教養を深め、語学力を磨いていきたいと思っています。

明治大学政治経済学部がわかる **9**つのポイント

<p>学科・科目</p> <p>学科を超えて学ぶ</p> <p>3学科4コース+ 科目パッケージ</p>	<p>政治学科</p> <p>人間社会の総合科学</p> <p>政治社会への 多角的アプローチ</p>	<p>経済学科</p> <p>人々の暮らしを考える</p> <p>日常生活に直結する 経済学</p>
<p>政策学科</p> <p>社会課題解決の プロフェッショナルをめざす</p> <p>「地方」「都市」「国」「世界」など 多様な「地域」が学びの舞台</p>	<p>GCDプログラム</p> <p>学年で約50名を選抜</p> <p>グローバル人材を 育成</p>	<p>留学</p> <p>豊富な選択肢</p> <p>学部独自の 留学プログラムが学内最多</p>
<p>ゼミナール</p> <p>アクティブラーニング</p> <p>問題解決能力 アップを目指す</p>	<p>地域との連携</p> <p>現場を知り、実践に活かす</p> <p>外部講師による 多様な授業</p>	<p>キャリア教育・進路</p> <p>あなたの進路を後押し</p> <p>国際キャリア支援や 起業家養成も</p>

詳しくはこちらを**CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University
<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/seikei>



LINE @meijixam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた?

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

